スタンドアロン NVR シリーズ

日本語ユーザー・マニュアル

2.1.x.64 / 3.1.x.64

目次

1.0　はじめに 7
安全にお使いいただくために 9
本製品をお使いになる前に 14
1.1 ハードウェアの仕様 15
DS-1100Pro(+)シリーズ 15
DS-4200Pro(+)シリーズ 16
DS-16000-RM Pro+シリーズ 17
1.2 LED インジケーター 18
DS-1100Pro(+)シリーズ 18
DS-4200Pro(+)シリーズ 19
DS-16000-RM Pro+シリーズ ※受注生産品 21
1.3 デュアル・モニター仕様：HDMI/VGA/DVI-I 23
2.0　NVR の準備 24
2.1 クライアント PC の要求仕様 24
2.2 NVR への接続 24
2.2.1 クイック・ガイド 25
2.2.2 EZ Search のインストール 25
2.2.3 S-NVR デコーダーのインストール 33
2.2.4 ユーザー・マニュアル 34
2.2.5 Browse CD 34
2.2.6 ライブ表示の実行 35
2.3 その他 37
2.3.1 ファイルの改ざんチェック（NVRCheck） 37
2.3.2 エクスポートした録画データの再生（NVRPlayer） 39
3.0 PC での操作 42

3.1 ライブ画面 42
3.1.1 表示モードの変更 42
3.1.2 ライブ画面の主な機能 43
3.1.3 オプション（映像ウィンドウ上の右クリック） 54
3.1.4 音声双方向機能 55
3.1.5 マルチ・サーバー 56
3.1.6 ダイナミック E-map 機能 57
3.2 録画再生 66
3.2.1 録画再生 66
3.2.2 録画再生画面の主な機能 69
3.2.3 スマートサーチ機能 73
3.2.4 同一カメラの分割同時検索機能 76
3.2.5 ファイルのエクスポート 77
3.2.6 エクスポートしたファイルの再生 79
3.3 PC による録画フォルダへのアクセス（SMB/FTP） 81
3.3.1 Windows ネットワーク 81
3.3.2 FTP サービス 82
4.0 ローカル・ディスプレイの操作 84
4.1 NVR へのログイン 84
4.1.1 バーチャル・キーボード 84
4.2 ライブ表示 85
4.2.1 ライブ表示モードの選択 85
4.2.2 ライブ表示の主な機能 86
4.2.3 映像設定 90
4.2.4 オプション（映像ウィンドウ上の右クリック） 94
4.3 録画再生 95

4.3.1 録画再生 95
4.3.2 録画再生の主な機能 99
4.3.3 音声の再生 101
4.3.4 スナップショット 102
4.3.5 録画映像のエクスポート 102
4.4 その他 105
4.4.1 ローカル・ディスプレイのスクリーンショット 105
5.0 設定 105
5.1 カメラ設定 105
5.1.1 カメラ設定 105
5.1.2 映像設定 112
5.1.3 カメラの状態 114
5.2 録画とイベント 115
5.2.1 録画モード 115
5.2.2 録画スケジュール 117
5.2.3 イベントと動作の管理 118
5.2.4 詳細設定 127
5.2.5 イベントと動作の情報 128
5.2.6 E メール 128
5.3 ディスク管理 129
5.3.1 ディスク管理 129
5.3.2 ストレージ管理 130
5.3.3 ファイル共有サービス 131
5.4 バックアップ 133
5.4.1 バックアップスケジュール 133
5.4.2 USB バックアップ 135

5.4.3　エッジバックアップ.....137
5.4.4　バックアップサーバー機能.....138
5.5 ネットワーク設定.....139
5.5.1 ネットワークのセットアップ.....139
5.5.2 ネットワーク・サービス.....141
5.5.3 DDNS.....143
5.6 管理.....144
5.6.1 ユーザー管理.....144
5.6.2 フェイルオーバー.....146
5.6.3 定期通知機能.....148
5. 7 External Device.....149
5.7.1 PoE 制御.....149
5.7.2 Modbus IO Device.....149
5.7.3 AXIS IO デバイス.....149
5.7.4 Access Control.....150
5.7.5 SNMP.....150
5.7.6 UPS 管理.....151
5.7.7 パトライト.....152
5.7.8 IP Controller.....152
5.8 システム.....153
5.8.1 機器情報.....153
5.8.2 ログ・システム.....154
5.8.3 設定の保存と読み込み.....157
5.8.4 ブザー/接点出力.....158
5.8.5 システムのアップグレード.....159
5.8.6 日付と時間.....162

5.8.7 言語.....163
5.8.8 再起動とシャットダウン.....163

1.0　はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

- 本製品は本書内で「NVR」または「DIGISTOR」と呼ばれます。
- 本ユーザー・マニュアル（バージョン 2.1.x.64 / 3.1.x.64）は、DIGISTOR ファームウェアの Ver64 にのみ適用されます。DIGISTOR が古いバージョンのファームウェアで稼働している場合は、応じたバージョンのユーザー・マニュアルをご覧ください。
- 本書は DIGISTOR のすべての機能について解説を行っております。特定の機種によっては、その機能をサポートしていない場合があります。

＝ 保証の範囲 ＝

- 弊社は、本製品によってもたらされた（直接・間接を問わない）損害について、あらゆる意味で本製品の価格を超える金銭的保証の責任を負わないものとします。
- 弊社は、誤った使用・用途・不当な修理や改造によって生じた故障や損傷、想定外の環境で使用した場合、いかなる保証の責任も負わないものとします。
- 弊社は、予告なく、本製品、ソフトウェア、文書のアップデートを行う権利を有するものとします。

※すべての特徴、機能等の製品仕様は予告なしに変更することがあります。

注意：

1. 貴重なデータを保護するため、定期的にバックアップを行ってください。弊社はデータの損失並びにデータの修復に関して、一切の責任を負わないものとします。
2. 返品または修理の際は、ご購入時と同じ梱包材を使って製品を発送してください。梱包の不備に起因する製品の破損について、弊社は責任を負いません。

安全にお使いいただくために

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています**（次は図記号の例です）。

🛇	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

⚠警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

●必ず販売店に依頼してください。

分解しない、改造しない

分解禁止

火災や感電の原因となります。

●修理や点検は、販売店に依頼してください。

異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

●ただちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。

●放置せずにただちに電源を切り、販売店に連絡してください。

機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない

水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。

●ただちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

不安定な場所に置かない

落下および転倒によるけがや事故の原因となります。

雷のときは工事、配線をしない

火災や感電の原因となります

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因となります

ぬれ手禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを乗せる、束ねるなど

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

●コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

アースを確実に取り付ける

アースは確実に行って使用してください。
アースを取り付けないと、故障や漏電による感電の原因となります。

●販売店に相談してください
（アース工事費は本製品の価格には含まれておりません）。

電源を入れたまま工事、配線をしない

火災や感電の原因となります

電源コードは、必ずプラグ本体を持った抜く

コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

振動や強い衝撃を与えない

火災や感電の原因となります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない

火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

通気孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

機器設置の注意点

●取扱説明書を読む

製品を実際にご利用になる前に、必ずユーザー・マニュアルをお読みください。

●電源

必ず製品付属の AC アダプターをご利用ください（※該当機種のみ)。

●修理

技術的に不明な点は販売店にお問い合わせください。事故、故障の原因になるので、絶対に分解しないでください。

●警告

漏電、感電の恐れがあるため、雨がかかる場所、湿度の高い場所での運用はおやめください。また本製品の上に何も置かないでください。

＝＝　安全にお使いいただくために　＝＝

1. 本製品は外気温 0–40 度、湿度 5–85%の環境下(※結露なきこと)でご利用いただけます。通気の良い場所に設置してください。
2. 故障の原因になりますので、本製品は定められた定格の電圧下でお使いください。
3. 直射日光が当たる場所、化学薬品の近くに置かないでください。また設置する場所の温度と湿度が適切であることを必ず確認してください。
4. 運用の障害や、過熱の原因になるため、本製品の上にものを置かないでください。
5. 本製品を水の近くに設置しないでください。

6. 落下やそれに伴う破損の危険性があるため、不安定な場所に本製品を設置しないでください。
7. 本製品に対し、正しい電圧が供給されていることを確認してください。電圧の状態がわからない時は、販売店にお問い合わせください。また、安定した電圧を供給するため、UPS の設置を推奨します。
8. 万が一の感電防止のためアース(接地)することをお勧めします。
9. レコーダー内部の時計は日を追うごとにずれが生じます、定期的（1-2 ヵ月）に時刻の補正を行うか、NTP サーバーを設置し同期を行うことを推奨します。
10. 電源コードの上にものを置かないでください。
11. 感電その他の危険があるため、本製品を分解、修理しないでください。故障と思われた時は販売店にご相談ください。
12. システム内のファンには決して触れないでください。重大な負傷を招く恐れがあります。

規制の通知

FCC（連邦通信委員会）通知

この機器はテストの結果、FCC Rules の Part 15 に規定されたクラス B デジタル機器の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地区で使用する際に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。この機器は無線周波エネルギーを生成、使用、および放射することがあるため、指示に従わずに取り付けたり使用したりした場合は、有害な干渉を発生させる恐れがあります。ただし、特定の設置環境で干渉が起きないことを保証するものではありません。この機器がラジオやテレビの受信を妨害していることを、機器のオフ／オン切り替えにより確認できる場合、次のいずれかを行って妨害に対処することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変える、または設置場所を移動する。
- 装置と受信機の距離を離す。
- この機器を、受信機が接続されている回線と別のコンセントに接続する。
- 販売代理店か、ラジオ、テレビに詳しい技術者に相談する。

準拠に関する責任当事者の明示的な承認なしに変更や修正を行うと、ユーザーは装置を操作する権利が無効になることがあります。
シールドインターフェイスケーブルが提供されている場合、FCC 規制に準拠するためにはそれらを使用する必要があります。

CE 通知

クラス B のみ。

本製品をお使いになる前に

本製品を開梱後、すべての同梱品が、すべて揃っているかご確認ください。
また、準備中のトラブルを避けるため、必ずマニュアルの内容をご確認ください。

1.1 ハードウェアの仕様

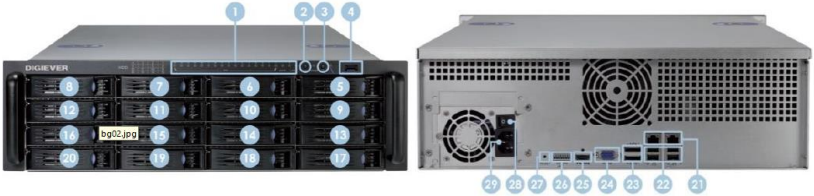
DS-1100Pro(+)シリーズ

①電源ボタン
②LED インジケーター： HDD
③USB 2.0 × 1（自動バックアップで使用）
④USB 2.0 × 1
⑤電源入力
⑥USB 3.0 × 2
⑦DVI-I
⑧eSATA × 1
⑨HDMI × 1
⑩ギガビット LAN
⑪USB 2.0 x 2
⑫⑬音声端子（予備）

DS-4200Pro(+)シリーズ

①LED インジケーター：LAN / eSATA / HDD1 / HDD2 / HDD3 / HDD4
②電源ボタン
③USB バックアップ・ボタン
④USB 2.0 x 1（自動バックアップで使用）
⑤USB 2.0 x 2
⑥HDD1
⑦HDD2
⑧HDD3
⑨HDD4
⑩ギガビット LAN
⑪USB 2.0 x 4
⑫eSATA x 2（拡張用）
⑬VGA x 1
⑭HDMI x 1
⑮DI/DO（入力 4 / 出力 2）
※上から下に：Vcc5V / GND / DI-1 / DI-2 / DI-3 / DI-4 / DO-1 / DO-2
⑯リセットボタン
⑰電源コネクタ
⑱K ロック用スロット

DS-16000-RM Pro+シリーズ



①LED インジケーター：LAN / eSATA / HDD1～HDD4
②電源ボタン
③USB バックアップ・ボタン
④USB 3.0 x 1（バックアップで使用）
⑤～⑳HDD 1～16
㉑LAN x 2
㉒USB 2.0 ×4
㉓eSATA ×2
㉔VGA 出力
㉕HDMI
㉖DI/DO（入力 4 / 出力 2）
※左から右に：Vcc5V / GND / DI-1 / DI-2 / DI-3 / DI-4 / DO-1 / DO-2
㉗リセットボタン
㉗電源コネクタ
㉘電源スイッチ

1.2 LED インジケーター

DS-1100Pro(+)シリーズ

背面 RJ-45 の LED の状態：

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity（右側）	消灯	LAN が接続していない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed（左側）	消灯	10M / 100M 接続か未接続の状態
		オレンジ	1000M 接続の状態

注意:

電源を切るには、2 秒程度電源ボタンを押してください。

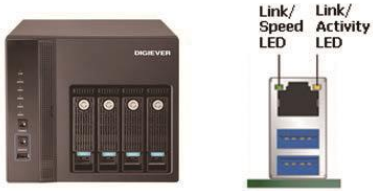
電源を入れるには、3 秒程度電源ボタンを押してください。

初期化方法：

ログインページにて電源ボタンを 3 秒押し、シャットダウンの可否のダイアログが出たのちに、キャンセルを行うと、下記のボタンが表示されます。

ボタンをクリック後、メッセージが出てきますので、Yes を押し初期化を行ってください。

DS-4200Pro(+)シリーズ



参考図 2-5：DS-4200Pro(+)シリーズの正面と RJ-45 ポート

正面の LED の状態：

LED	LED の色と状態	意味
LAN	消灯	LAN が接続していない状態
	オレンジ	LAN 接続が確立している状態
	オレンジ点滅	LAN にアクセスしている状態
eSATA	消灯	データの転送がない状態
	オレンジ点滅	eSATA 機器にアクセスしている状態
HDD1 ～ HDD4	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	HDD のデータにアクセスしている状態
	レッド	HDD が故障して取り外しが必要な状態
電源	消灯	電源オフの状態
	グリーン	電源オンの状態
バックアップ	消灯	USB 機器がない状態
	ブルー	USB 機器がアクセス可能な状態
	ブルー点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
	レッド	バックアップでエラーが発生した状態

背面 RJ-45 の LED の状態：

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity（右側）	消灯	LAN が接続していない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed（左側）	消灯	10M / 100M 接続か未接続の状態
		オレンジ	1000M 接続の状態

注意：

* USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。
* NVR の電源をオフにする時は電源ボタンを 2 秒以上、押してください。
* NVR の電源をオンにする時は電源ボタンを 3 秒以上、押してください。

DS-16000-RM Pro+シリーズ ※受注生産品

※参考図

正面の LED の状態：

LED	LED の色と状態	意味
LAN	消灯	LAN が接続していない状態
	オレンジ	LAN 接続が確立している状態
	オレンジ点滅	LAN にアクセスしている状態
eSATA	消灯	データの転送がない状態
	オレンジ点滅	eSATA 機器にアクセスしている状態
HDD1 ～ HDD16	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	HDD のデータにアクセスしている状態
	レッド	HDD が故障して取り外しが必要な状態
電源	消灯	電源オフの状態
	グリーン	電源オンの状態
バックアップ	消灯	USB 機器がない状態
	ブルー	USB 機器がアクセス可能な状態
	ブルー点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
	レッド	バックアップでエラーが発生した状態

背面 RJ-45 の LED の状態：

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity（右側）	消灯	LAN が接続していない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed（左側）	消灯	10M / 100M 接続か未接続の状態
		グリーン	100Mbps 接続の場合
		オレンジ	1000Mbps 接続の状態

注意：

※ USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。

※ NVR の電源をオフにする時は電源ボタンを 2 秒以上、押してください。

※ NVR の電源をオンにする時は電源ボタンを 3 秒以上、押してください。

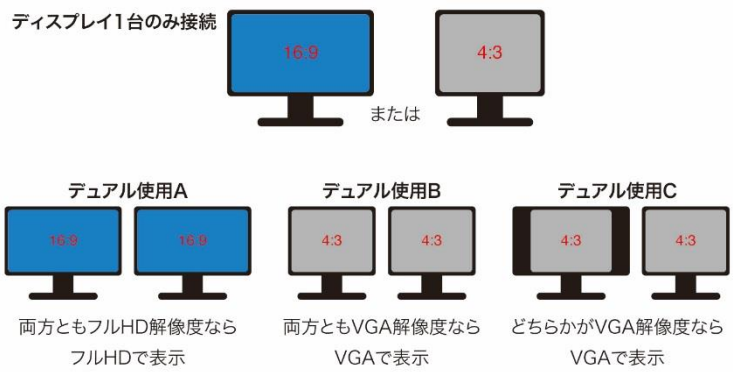
※ リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます（※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください）。

1.3 デュアル・モニター仕様：HDMI/VGA/DVI-I

DS-4200Pro(+)シリーズ、DS-16000-RM Pro(+)シリーズは映像出力用に HDMI と VGA ポートを持ちます。その両方にローカル・ディスプレイを接続し、同時に映像を出力可能です（※個別モードとクーロンモードの選択が可能）。※(S)RM は受注生産品になります。

DS-1100Pro(+)シリーズは映像出力用に HDMI と DVI-I ポートを持ちます。その両方にローカル・ディスプレイを接続し、同時に映像を出力可能です（※個別モードとクーロンモードの選択が可能）。

組み合わせ A：ディスプレイが 2 台ともフル HD（1920 x 1080）解像度の場合、どちらもフル HD で表示されます。
組み合わせ B：ディスプレイが 2 台とも VGA（1024 x 768）解像度の場合、どちらも VGA で表示されます。
組み合わせ C：ディスプレイの 1 台がフル HD、もう 1 台が VGA 解像度の場合、どちらも VGA で表示されます。



2.0　NVR の準備

2.1 クライアント PC の要求仕様

DIGISTOR に接続して使用する PC に最低限必要な仕様は以下の通りです。

●オペレーティング・システム

Microsoft Windows 7 Professsional / 8.1 Professional
（32-bit または 64-bit）/Windows 10 Professional

●ブラウザ

Microsoft® Internet Explorer 11 以降（32-bit）

●CPU

Intel®Core i7 CPU 2.8 GHz 以上

●ネットワーク

1,000Mbps 程度
注意：カメラと NVR はギガビット・スイッチに接続してください。

●メモリ

4GB-8GB 程度

●グラフィックカード

NVIDIA®　GeForce ® GTX1060 相当
・ディスプレイの DPI 設定の初期値は 96DPI です。
・DPI 値を変更する時はデスクトップを右クリックして
　設定タブ ＞ 詳細 ＞ 一般

●CD-ROM ドライブ

CD-ROM 内のデータ閲覧時に必要になります。

●Adobe Reader

マニュアルなどを閲覧するのに必要です。
オーディオ機能を使用するためには PC にサウンド・カードが必要です。

2.2 NVR への接続

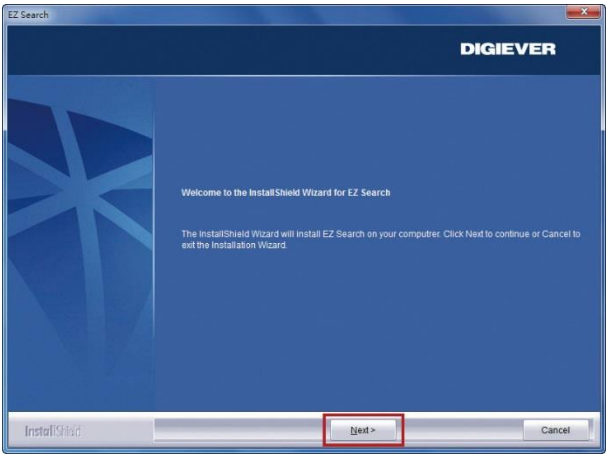
まず、クイック・ガイドやマニュアルを参照したり、ユーティリティをインストールするために、PC に CD-ROM を入れます。

2.2.1 クイック・ガイド

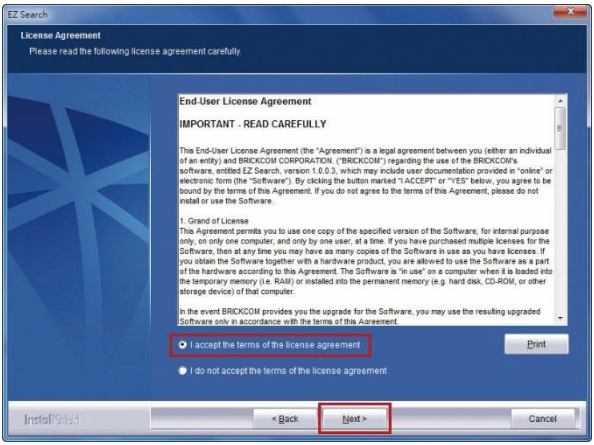
「Quick Guide」をクリックし、クイック・ガイドをご覧いただけます。

2.2.2 EZ Search のインストール

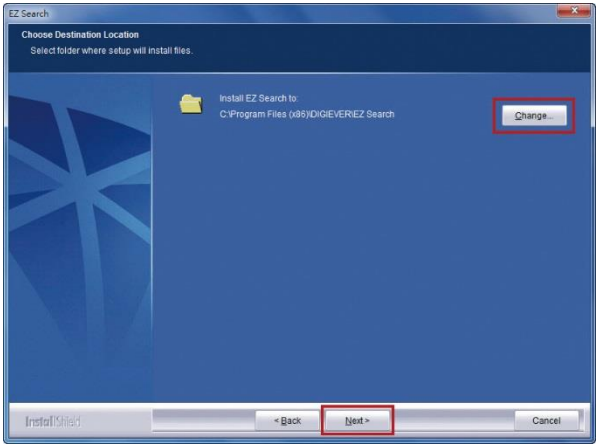
「Install EZ Search」をクリックして NVR 検索ユーティリティを PC にインストールします。



インストールウィザードが起動するので、
「Next」をクリックしてインストールを続行します。

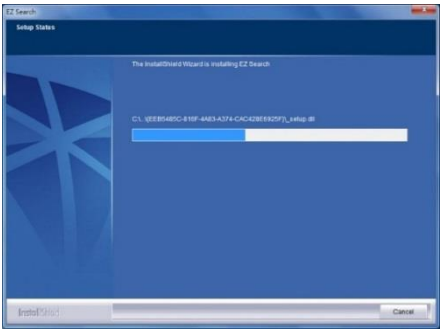


内容を確認の上、「Next」をクリックしてください。

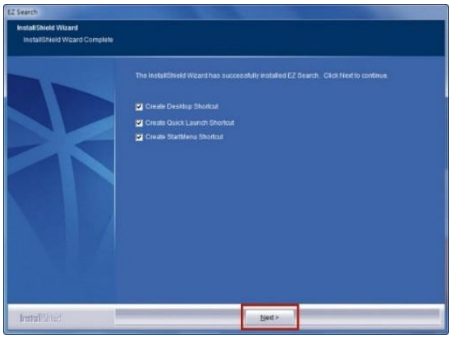


EZ Search は C:¥Program Files (x86)¥DIGIEVER¥EZ Search にインストールされます。インストール先を変更したい時は「Change」をクリックして任意のフォルダにインストールすることも可能です。

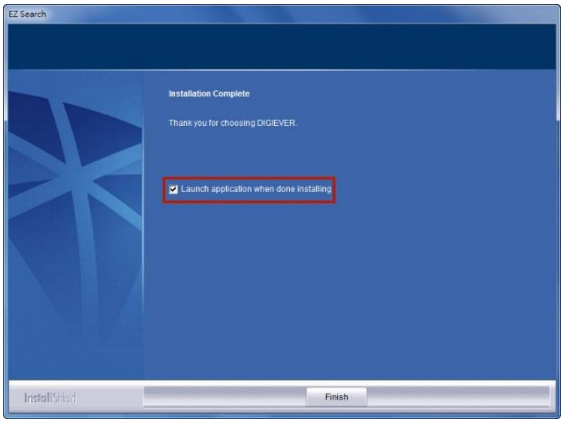
インストール先のフォルダを指定したら、「OK」をクリックしてインストール作業を続行します。



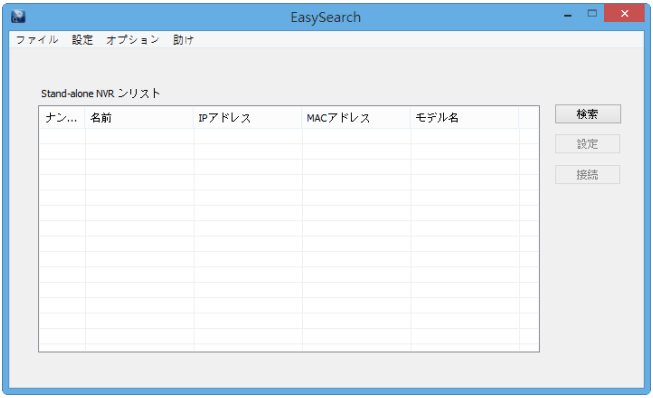
EZ Search のインストール中は、上記のようなウィンドウが表示されます。インストールが完了するまでお待ちください。



インストールが完了しました。
「Create Desktop Shortcut」「Create Quick Launch Shortcut」「Create Start Menu Shortcut」を選択して「Next」をクリックします。



「Launch application when done installing」にチェックを入れ、「Finish」をクリックすると EZ Search が起動します。

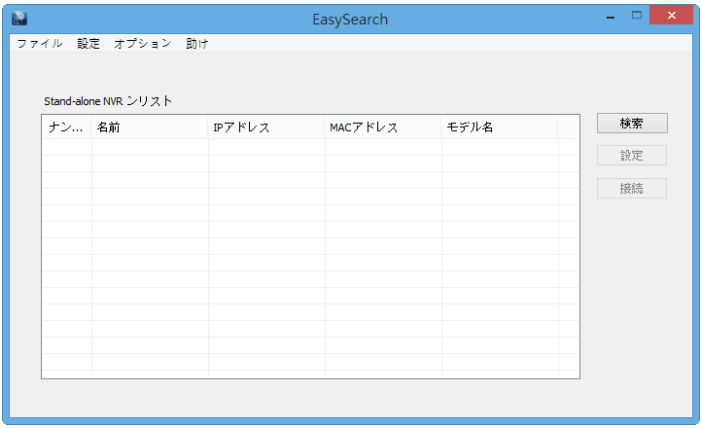


EZ Search は同一サブネット上の DIGISTOR を検出し、名称、IP アドレス、Mac アドレス、機種名を表示します。「検索」をクリックすると検出を開始します。

EZ Search の使い方

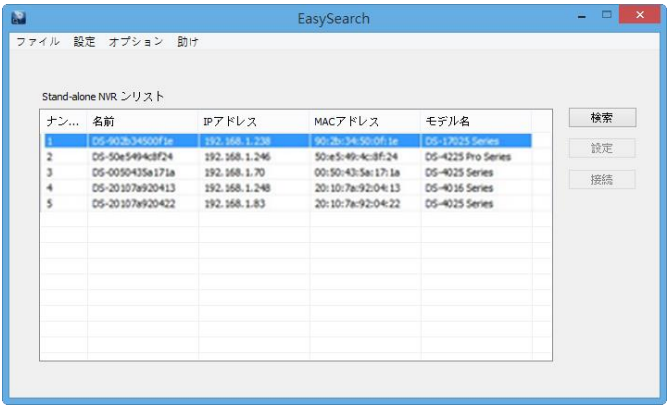
EZ Search 上の 3 つのツールバー

1. ファイル



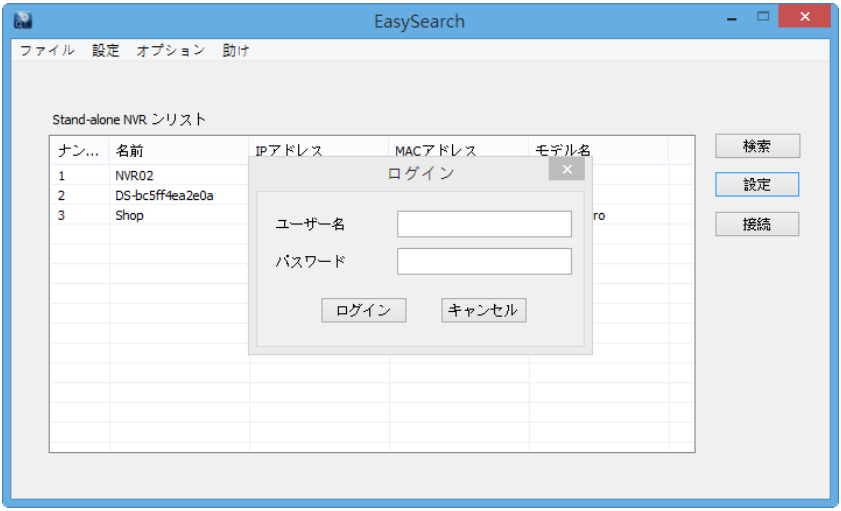
「Exit」をクリックすると EZ Search は終了します。

2. 設定

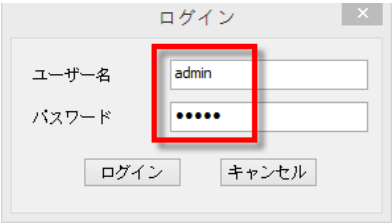


「設定」をクリックすると NVR の UPnP またはネットワーク設定を変更することができます。

注意：設定を変更するためには、NVR の管理者 ID とパスワードが必要です。

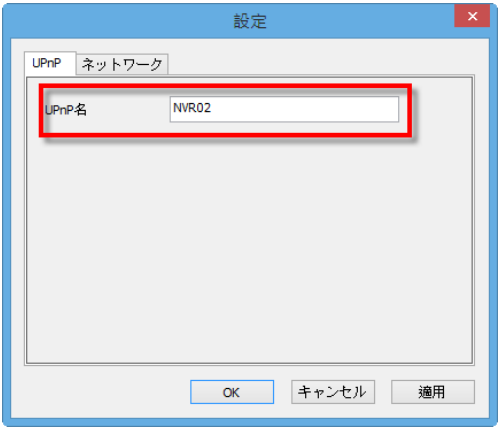


NVR の設定を変更する際、上記のようなダイアログが表れるので、ユーザー名とパスワードを入力します。入力後「ログイン」をクリックします。
※初期設定：ユーザー名、パスワード共に「admin」



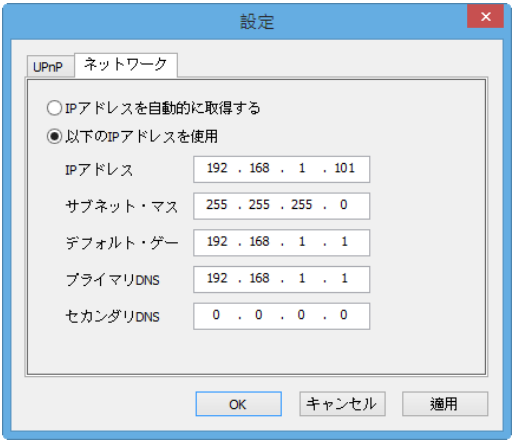
1) UPnP

UPnP(Universal Plug and Play)で表示される名称を変更できます。
変更後、「適用」をクリックして設定を適用してください。

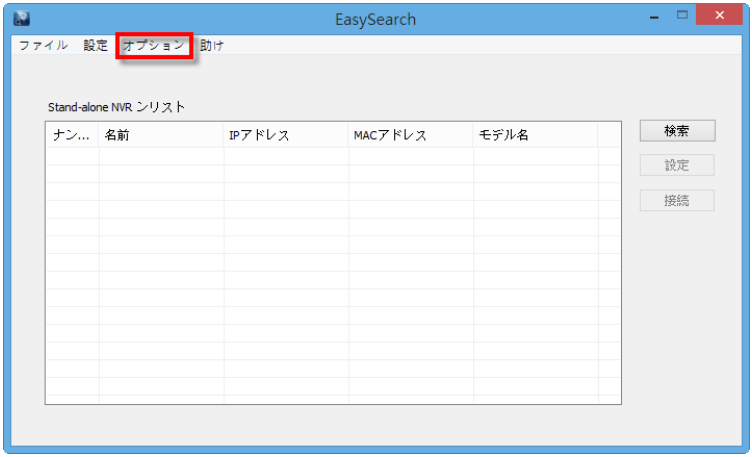


2) ネットワーク

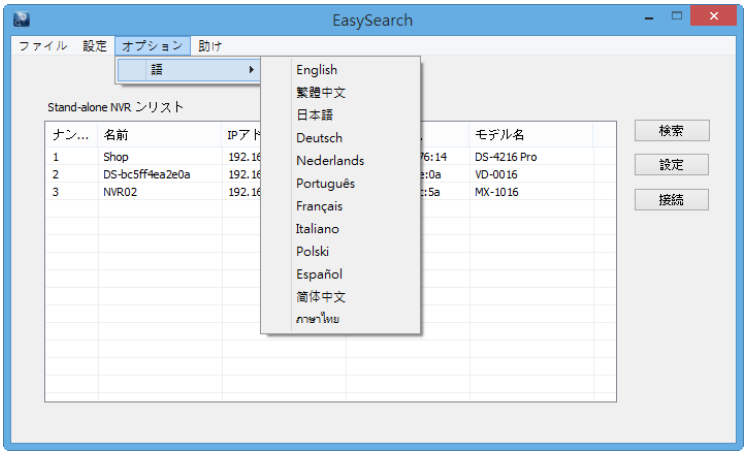
ネットワーク設定では、DHCP による自動取得と
固定 IP の設定による手動設定が選可能です。



3. オプション



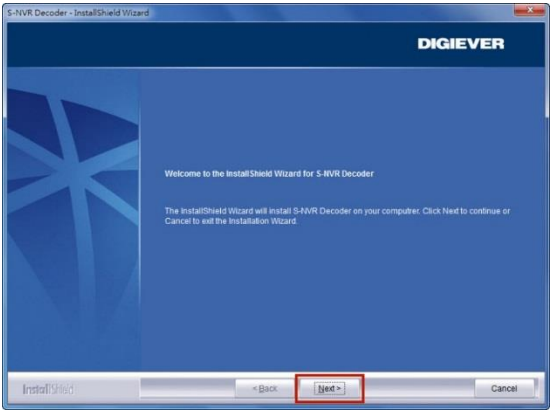
表示言語を変更できます。



リストにある NVR を選んで「接続」をクリックするか、NVR 名をダブルクリックすると、ブラウザが立ち上がり NVR に接続します。

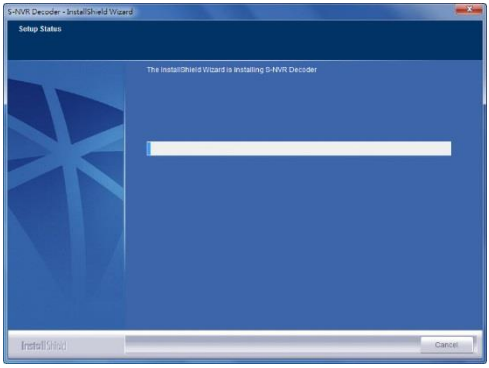
2.2.3 S-NVR デコーダーのインストール

「Install S-NVR Decoder」をクリックし、以下の手順でインストールを行います。

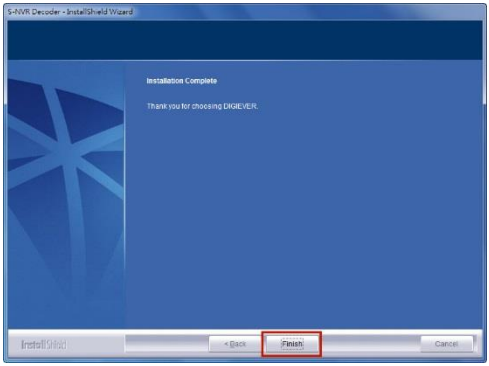


インストールウィザードが起動するので、「Next」をクリックしてインストールを開始します。

内容を確認した上で、「Next」をクリックしてください。



S-NVR デコーダーのインストールが開始されます。



インストールが完了したら「Finish」をクリックしてウィンドウを閉じます

2.2.4 ユーザー・マニュアル

「User Manual」をクリックしてマニュアルを参照できます。

2.2.5 Browse CD

Autorun.exe file があるフォルダを開く時は「Browse CD」をクリックしてください。

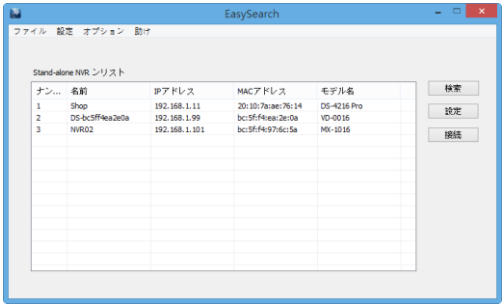
2.2.6 ライブ表示の実行

1. NVR への接続

EZ Search と S-NVR デコーダーのインストールが終わったら、ブラウザを用いて NVR に接続できます。

1）EZ Search を使って接続する

リストから NVR を選んで「接続」をクリックする、またはリストをダブルクリックすることでブラウザが起動し、NVR へ接続します。



2）ブラウザを立ち上げてから接続する

NVR の IP アドレスを入力して接続してください。

2. ユーザー名とパスワードの入力

ユーザー名、パスワードを入力しログインを行ってください。

3. 表示言語の選択

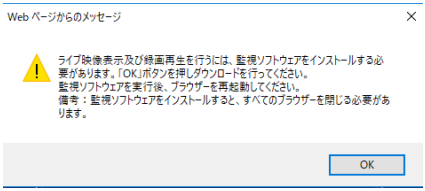
ドロップダウンリストで言語を指定してください。

4. NVR-Client の実行

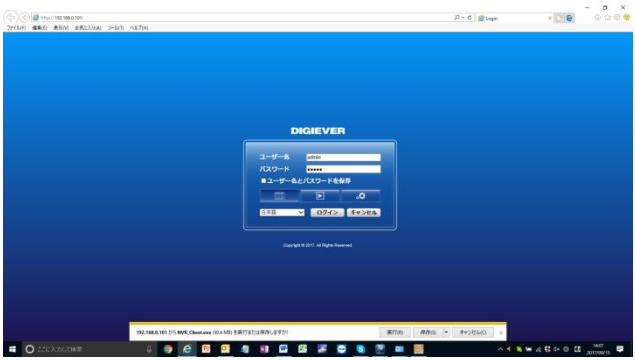
初めて NVR に接続した際、NVR-Client をインストールする必要があります。

注意：NVR の IP アドレスをブラウザの「信頼済みサイト」に登録してください。

1）下記のメッセージが表示されますので“OK“を押してください。



2)「実行」をクリックし、ソフトウェアのダウンロードを行ってください。



3）「実行」をクリックし、ソフトウェアをインストールしてください。

NVR-Client をインストールすると PC を使用しモニタリングが行えます。
（※ネットワークの状況によっては、時間がかかることがあります）

2.3 その他

2.3.1 ファイルの改ざんチェック（NVRCheck）

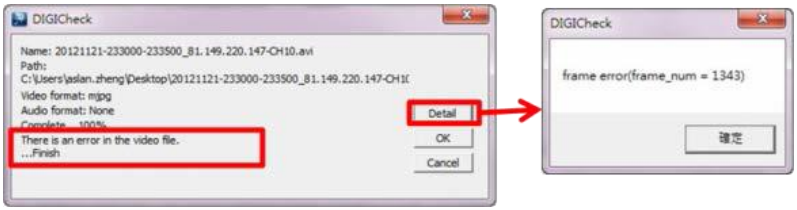
録画ファイル及び取得したスナップショットには自動的にウォーターマークがつき、NVRCheck を使用することで、不正なファイルでないかのチェックができます。

①ダブルクリックしてプログラムを起動してください。

②確認を行いたいファイルを選択し、OK をクリックしてください。.

改ざんされていないファイルの場合、「No error occur.」と表示されます。

改ざんされたファイルの場合は、「There is an error in the video file.」と表示されます。



より詳しい情報が必要な場合は「Detail」ボタンをクリックし、内容を明記の上、販売店までお問合せ下さい。

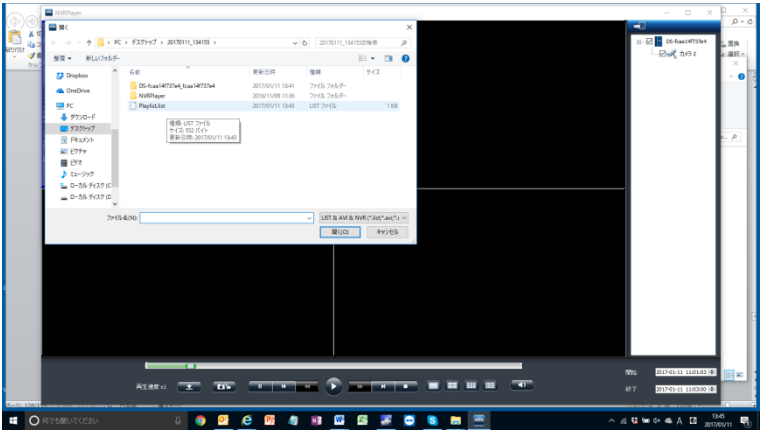
2.3.2 エクスポートした録画データの再生（NVRPlayer）

NVRPlayer はエクスポートした録画データの再生を行うことができるプログラムです。

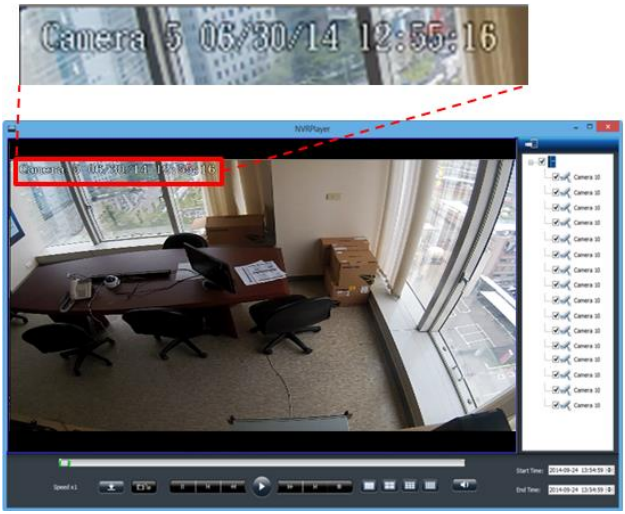
（※Windows へのインストールは必要ありません）

実行ファイルを選択し、右クリック→管理者として起動を行ってください。

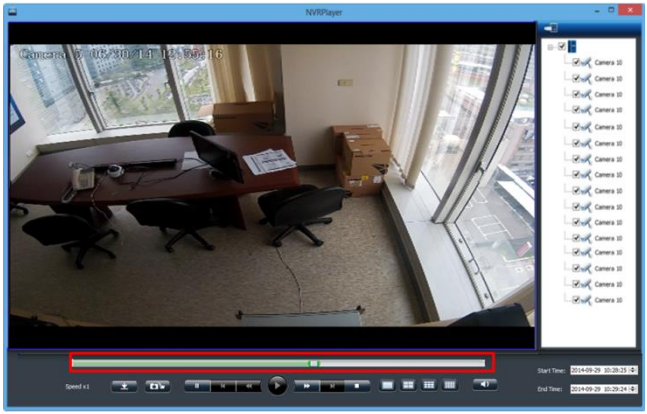
「開く」ボタンをクリックして取得したエクスポートフォルダ内の **Playlist.list** ファイルを選択することで再生が可能です。



また、再生時には左上にタイムスタンプが表示されます。

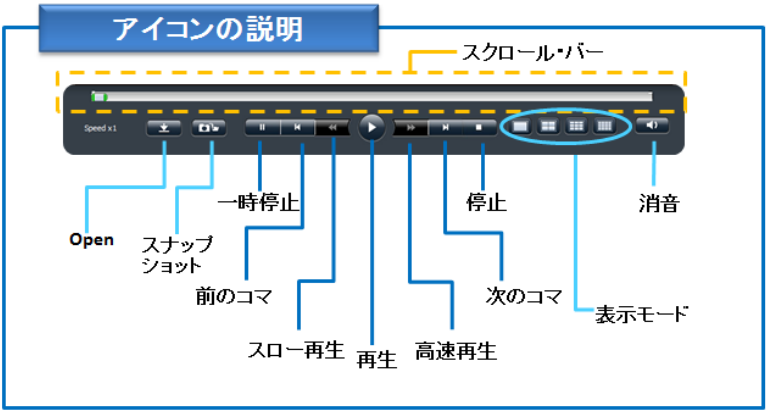


さらに、NVRPlayer の下部にあるタイムバーを動かすことで、選択したファイル内の時間検索が容易にできます。



※対応している魚眼カメラの展開も可能です（※右クリックにてメニューが表示されますので、表示条件を指定し再生を行って下さい）

アイコンの説明



- **コマ送り機能**

  「**一時停止**」ボタンを押し「**次のコマ**」or「**前のコマ**」をクリックすることで、コマ送り/戻しを行います。

- **スナップショット**

  「スナップショット」をクリックすることで PC にスナップショットを保存します。

3.0 PC での操作

3.1 ライブ画面

3.1.1 表示モードの変更

右上四つのボタンで表示モードを切り替えます。

モード	内　容
	ライブ表示： ライブ映像を表示します。
	録画再生： 録画した映像を再生するページを表示します。
	設定： カメラ、録画、イベント、管理、ネットワークなど設定するページを表示します。
	ログアウト： NVR からログアウトする時にクリックします。

3.1.2 ライブ画面の主な機能

1. カメラの状態

アイコン	内　容
	カメラ名： 映像ウィンドウ左上にカメラの名称が表示されます。「設定 ＞ カメラ ＞ カメラ設定」で名称を変更できます。
	映像圧縮形式： M-JPEG / MPEG-4 / H.264 が表示されます。
	オーディオ： カメラがオーディオ機能をサポートしていると、アイコンが青色で表示されます。サポートしていない時は灰色で表示されます。
	イベント： イベントが発生するとアイコンで通知します。
	録画状態： 録画状態を示します。
	青色の枠： ウィンドウを選択するとその枠が青色で強調表示されます。

2.NVR の情報

1）ファームウェア・バージョン

NVR のファームウェア・バージョンを表示します。

2）ディスク・CPU 使用量

ディスクと CPU の使用量を確認できます。

※使用量が 70%以下なら青色で、70%以上になると赤色で表示されます。

※解像度や FPS、画質の設定により、CPU の使用率が高くなります。安定処理の目安は、常時 70%以下です。

3.基本機能

アイコン	内　容
	スナップショット： 選択したカメラの静止画像を撮影します。ボタンをクリックするとウィンドウがポップアップします。 1）クリップボード 画像をクリップボードにコピーします。コピーしたデータはペイント・ツールなどにペーストできます。 2）保存 画像を設定したフォルダに保存します。 3）キャンセル スナップショットした画像を破棄します。
	デジタル・ズームイン / アウト： 選択したカメラのデジタル・ズームを操作します。
	表示停止： 選択したカメラの表示を停止します。
	全てを表示停止： 全てのカメラの表示を停止します。
	全てを表示： 全てのカメラのライブ映像を表示します。
	消音： カメラのオーディオ・ボリュームをゼロにします。
	日付と時間： 現在の日付と時間を表示します。

4.リモート IO

をクリックしてカメラの DI / DO（接点入出力）の状態を確認できます。

DI / DO 機能を持っていないカメラの場合は、右記のウィンドウが表示され使用できません。
※Brickcom 製カメラのみの機能となります。

5.ライブ表示モード

アイコンをクリックすると、表示レイアウトを変更できます。

アイコン	内　容
	全画面表示
	シングル表示
	4 分割表示
	9 分割表示

	12 分割表示
	16 分割表示
	20 分割表示
	3 /5 / 25 / 30 / 36 / 49 分割表示
	5+1 分割表示
	7+1 分割画面
	12+1 分割画面
	シーケンシャル・モード。特定ページを表示したい時はドロップダウン・メニューから選択してください。ページ切り換え間隔は「オプション ＞ 一般設定」で変更できます。

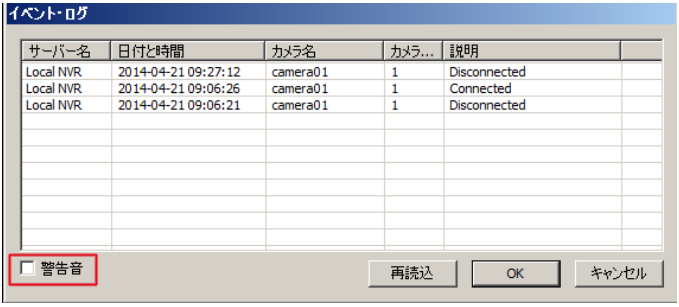
6.PTZ 制御

PTZ 機能を持つカメラは、ライブ画面でその操作を行えます。下記、そのアイコンの内容となります（※対応カメラのみ）。

アイコン	内　容
	PTZ 操作： 選択したカメラのパン、チルト、ズーム操作を行えます。クリックした矢印の方向にカメラが向きを変えます。中央の「家（ホーム）」ボタンをクリックすると、ホーム・ポジションに戻ります。
	プリセット・ポジション： カメラにプリセット・ポジションを登録していたら、その位置情報に基づいてカメラの向きを変えます。
	光学ズームイン / アウト： 選択したカメラのズームイン / アウトを制御します。
	フォーカスの手動調整 カメラが PTZ 機能をサポートしている場合、マニュアルでフォーカスの調整が可能です。
	オートフォーカス： **フォーカスを自動調整します。** ※オートフォーカス対応カメラ使用時に使用します。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： プリセット・ポジションを元に自動巡回設定を行います。巡回回数及びプリセット・ポジション間の移動間隔を設定してください。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： 巡回を開始します。

7.イベント・ログ

カメラの接続不良や、モーション検知機能等のイベントのログを表示します。検知するとアイコンが点滅し、アイコンをクリックするとログ・ウィンドウが表示されます。

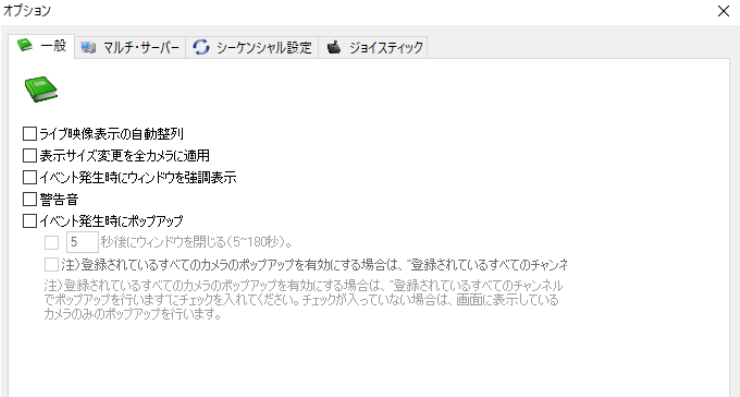


警告音

警告音を有効にすると、イベント動作時に警告音が鳴動します。
（オプション ＞ 一般設定からの"警告音の有効 / 無効の設定変更も可能です）

8.オプション

1）一般設定



●ライブ映像表示の自動整列

この機能を有効にすると、表示しないカメラを詰めて（＝間を詰めて）表示します。

●表示サイズ変更を全カメラへ適用

この機能をチェックすると、すべてのカメラの表示サイズ（※アスペクト比を維持するか？枠一杯に最大化するか？）を一括で変更できるようになります。

●イベント発生時にウィンドウを強調表示

設定によりイベントを検知するとウィンドウが強調表示されます。

当該映像ウィンドウをクリックすると強調表示を停止します。

●警告音

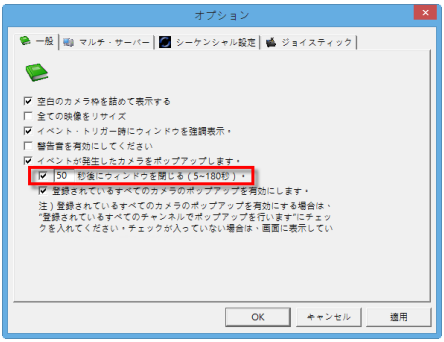
この機能を有効にすると、カメラのイベント時に警告音が鳴ります。

●イベント発生時に映像のポップアップ

この機能を有効にすると、イベント発生時に映像のポップアップを行うことができます。

確認後、 ボタンを押しポップアップ画面を閉じてください。

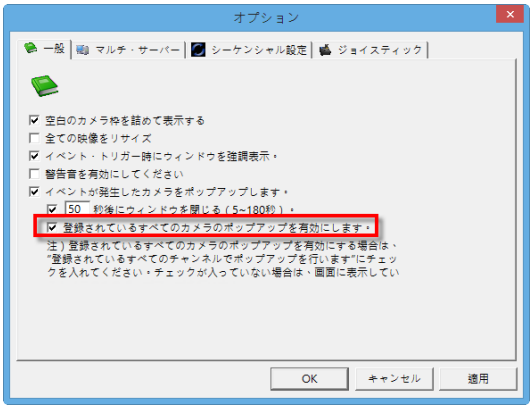
____秒後にウィンドウを閉じる（5-180秒）



自動的にポップアップを閉じる場合は、上記メニュー内の“　”にて秒数

の指定を行ってください（※デフォルトは 10 秒です）。

●登録されているすべてのカメラのポップアップを有効にします。

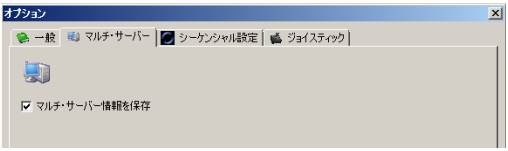


“登録されているすべてのカメラのポップアップを有効にします”を有効にすると、NVR のすべてのカメラにおいて、イベント発生時ポップアップを行います（※表示されていないカメラも含む）。
使用しない場合は、現在表示されているカメラに対してポップアップを行います。

注意：NVR がポップアップ可能な画面数は 1 です（ポップアップには最新のイベントの画像が表示されます）。

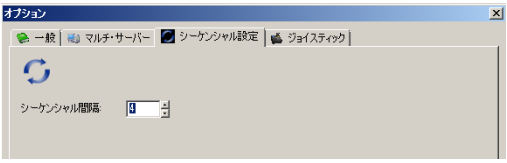
2）マルチ・サーバー設定

マルチ・サーバー使用時のレイアウト情報を本機に保存します。



3）シーケンシャル設定

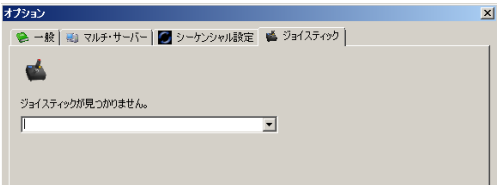
ページの切り替え間隔（秒単位）を設定します。



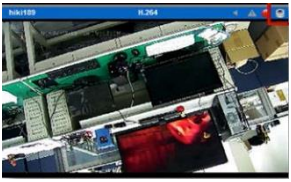
4）ジョイスティック設定

PC に USB 接続されたジョイスティックで PTZ カメラを制御できます。ジョイスティックの機種を選択して「適用」をクリックしてください。

※ジョイスティックの項目にて、該当するジョイスティックのモデル名を選択し、適用を押してください。



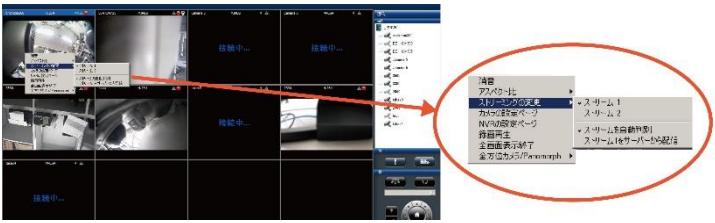
その後、ジョイスティックによりカメラを操作できます。



3.1.3 オプション（映像ウィンドウ上の右クリック）

1.消音：カメラの音声を OFF にします。
2.アスペクト比：原寸サイズ、または最大サイズ（ウインドウに合わせる）を切り替え表示できます。
3.ストリーミングの変更：表示しているストリーミングの切り換えを行います。

※マルチ・ストリームに対応するカメラであれば、二つの映像ストリームを取得できます。通常、ストリーム 1 は高画質（録画用）、ストリーム 2 は低画質（小サイズのウィンドウ表示用）に使用します。



「ストリームを自動判別」が有効の場合、選択中のレイアウトに合わせて最適のストリームが表示されます。

また、ストリームをサーバーから配信の場合は、常に NVR 経由でストリームを配信します。

4.カメラの設定ページ：カメラの設定ページへ移動します。
5.NVR の設定ページ：新規ページで NVR のカメラ設定ページを表示します。
6.録画再生：新規ページで録画再生ページを表示します。
7.マニュアル録画：マニュアル録画を開始、終了します。
8.全画面：全画面表示を終了します。
9.カメラステータスバー：カメラ情報などのステータスを表示/非表示の切り替えができます。
10.ROI： ROI を使用します。

11.魚眼補整モード(panomorph)：全方位カメラ、または ImmerVision レンズを取り付けたカメラの映像を補整する際に使用できます。

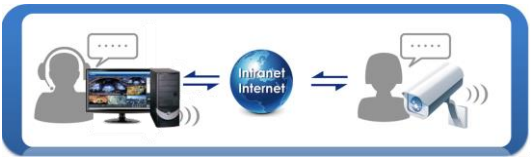
（1）全方位カメラの展開

カメラを選択後、右クリック→下記画面内容にて全方位カメラの設定位置、表示方法の変更を行ってください。

12.インスタント再生：選択したカメラの即時再生を行います。

3.1.4 音声双方向機能

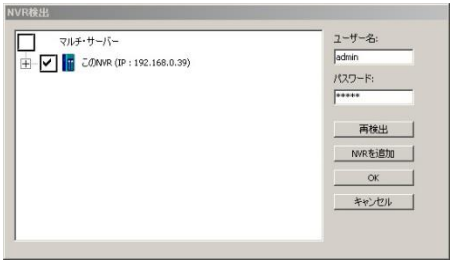
音声双方向の機能が使用できます。（※対応機種のみ）



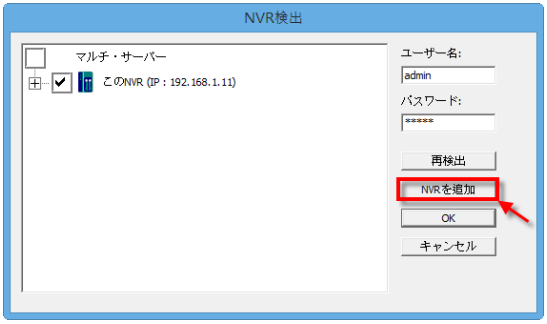
3.1.5 マルチ・サーバー

他のNVRを今アクセスしているNVRに登録して、まとめて管理できます。
カメラリストの上にあるアイコンをクリックしてください。
※閲覧用、録画再生用別に設定が必要です。

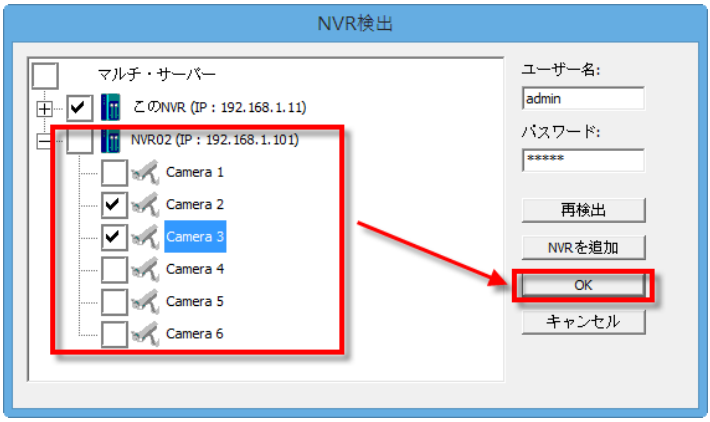
再検出のボタンを押すとNVRを自動的に検索します。追加したいNVRにチェックを入れ、ユーザー名、パスワードを入力して「OK」をクリックしてください。



手動で追加する際は、「NVRを追加」をクリックすると下記のウィンドウが表示され、NVR のアドレス、ポート番号、ユーザー名とパスワードを入力することでNVRの追加が可能です。



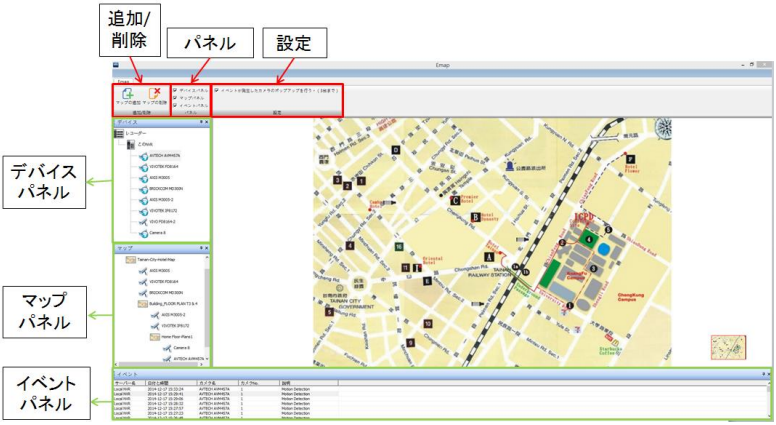
追加を行いたい NVR とカメラを選択して「OK」ボタンを押してください。



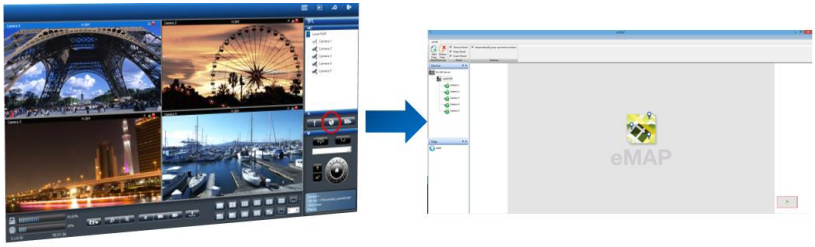
※最大256台のチャンネル登録が可能です（5chのDigistor使用時は51台まで）。

3.1.6 ダイナミック E-map 機能

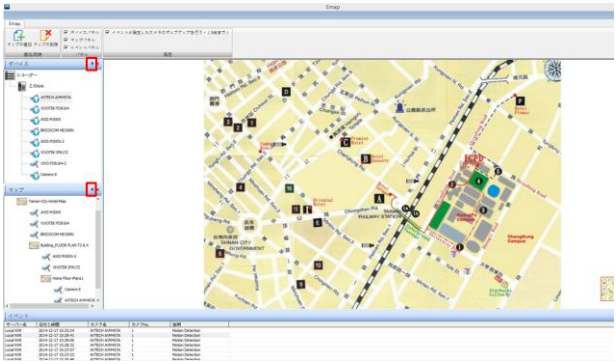
PC を使用してのモニタリングにてマップ機能が使用できます。ユーザーはマップを貼り付けカメラを配置することにより、視覚的にカメラの監視が可能です。また、イベント発生時に該当カメラのポップアップ表示も可能です。

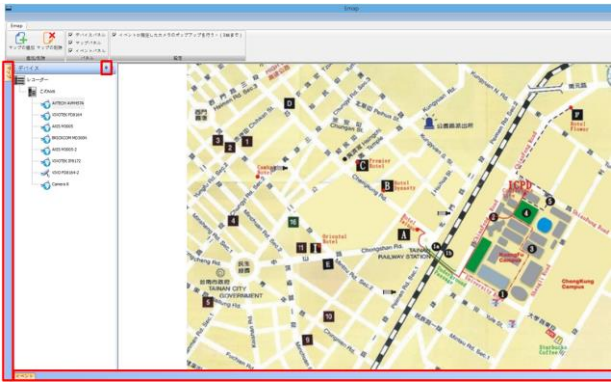


ライブ表示上の E-Map ボタンをクリックし、E-Map の画面に移行してください。



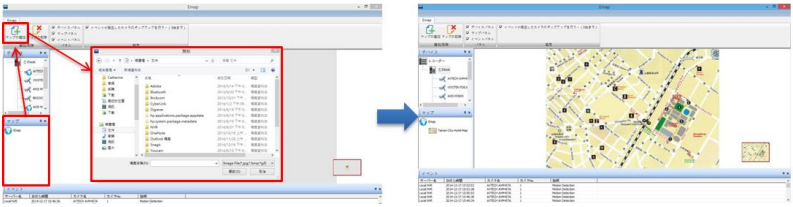
1．アイコンの状態

アイコン	内容
	パネルの固定: パネルを固定します。 

	パネルを隠す:ウィンドウの端にパネルを隠し、非表示にする（※再度パネルを表示するには、パネル名をクリックしてください）。 
	削除: パネルを閉じます。
	Map の追加: E-Map を追加します。
	Map の削除: E-Map を削除します。
	追加可能なカメラ: デバイスパネル上にあるカメラをドラッグすることにより追加可能です。
	Map 上に既にあるカメラ:すでに Map に登録されているため、そのカメラの追加はできません。

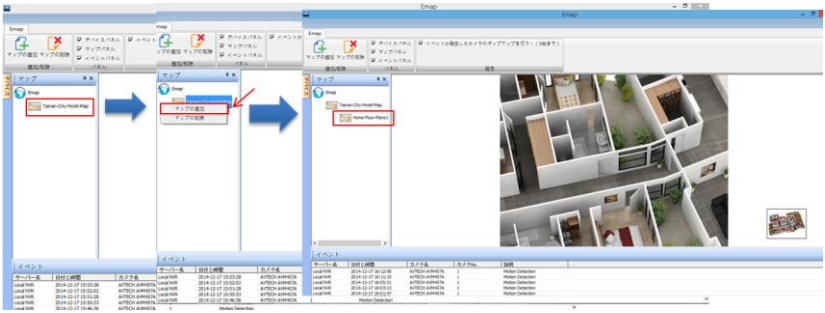
2．Map の階層の追加と削除

(1)Map の追加: マップを追加するには“マップパネル”上のマップをクリックし**“マップの追加”** をクリックしてください。



⚠ **注意: PNG**, **BMP** 及び **JPEG の画像のみ使用できます。**

(2)Map の右クリック: マップを右クリックすることでサブレイヤー（サブ階層）の作成が可能です。

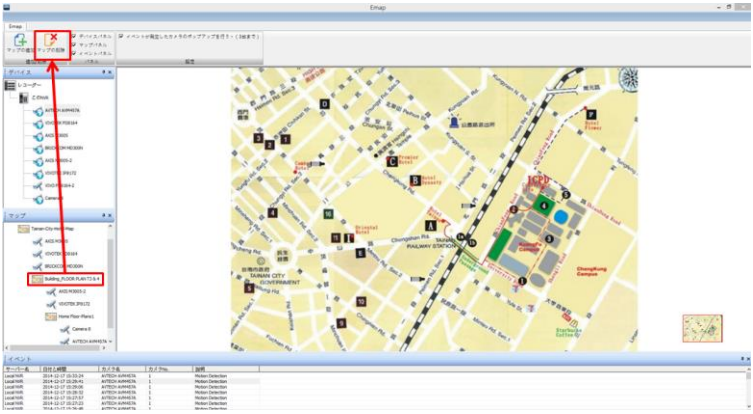


E-Map の拡大/縮小

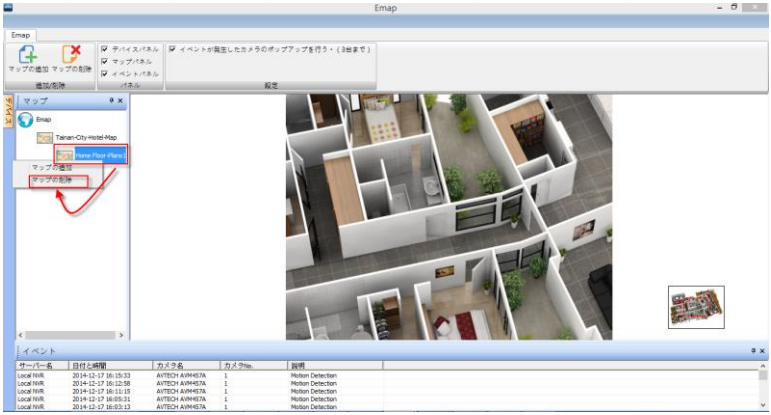
マウスのスクロールを使用し、Map の拡大/縮小ができます。

Map の削除

(1) **Map の削除ボタンによる削除:** マップをマップパネルより選択し"**マップの削除**"をクリックしてください。

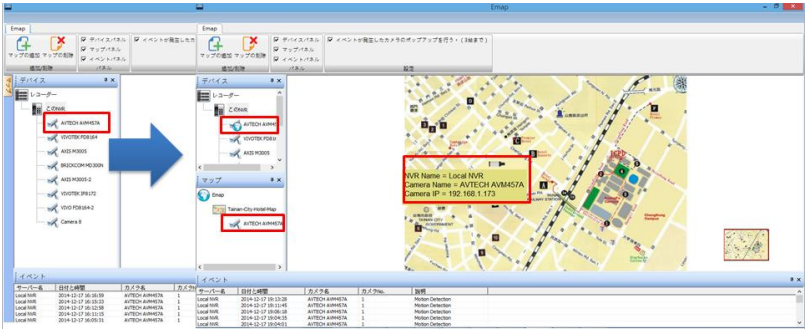


(2) **マップパネル上でのマップの削除:** 直接マップを選択し右クリック→**"マップの削除"**よりマップの削除を行ってください。



カメラの配置

(1) カメラの配置: 配置したいマップの場所にカメラをドラッグしカメラの配置を行ってください。カメラの配置が正常に行われると、デバイスパネル上のカメラのアイコンが (配置可能なカメラ) から (配置済みのカメラ)と表示が変わります。



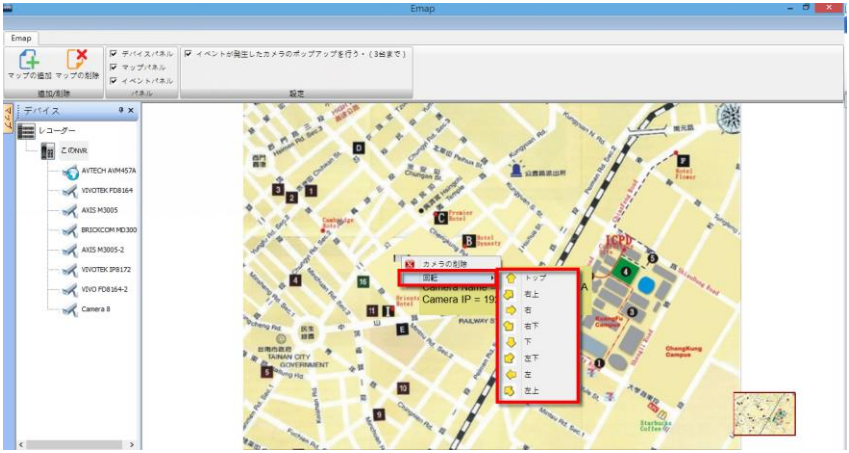
カメラ情報

マウスの矢印をマップ上にあるカメラアイコンへ移動すると黄色のコラムに IP アドレス等のカメラの情報が表示されます。

(2) カメラの削除: カメラの削除を行うには、右クリックをしてカメラの削除を選択することでカメラの削除が可能です。

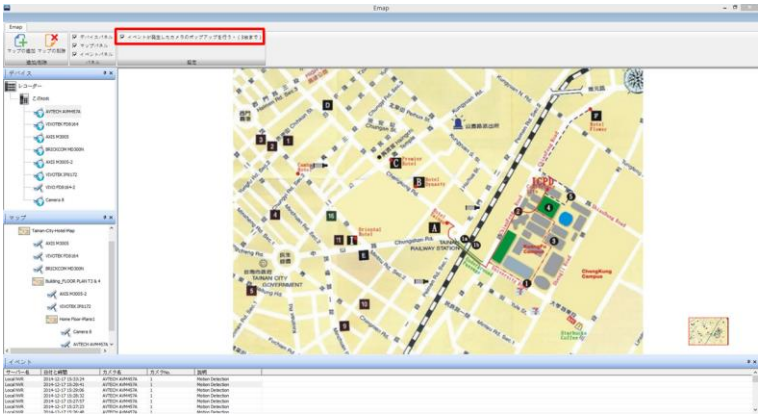
カメラアイコンの向きの変更

カメラアイコンを右クリックすることで、カメラの向きを変更できます。



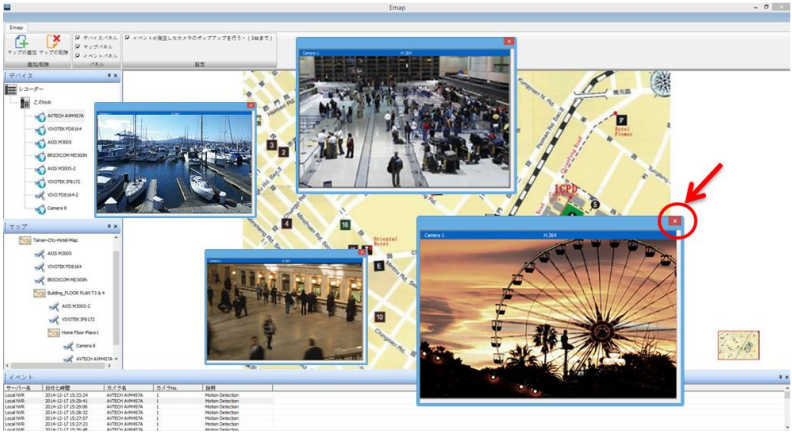
E-map 上でのポップアップ機能

動体検知などのイベント発生時に別ウィンドウにてカメラのライブ映像の表示が可能です。この機能を有効にするには、“イベントが発生したカメラのポップアップを行う”のチェックを ON にしてください。



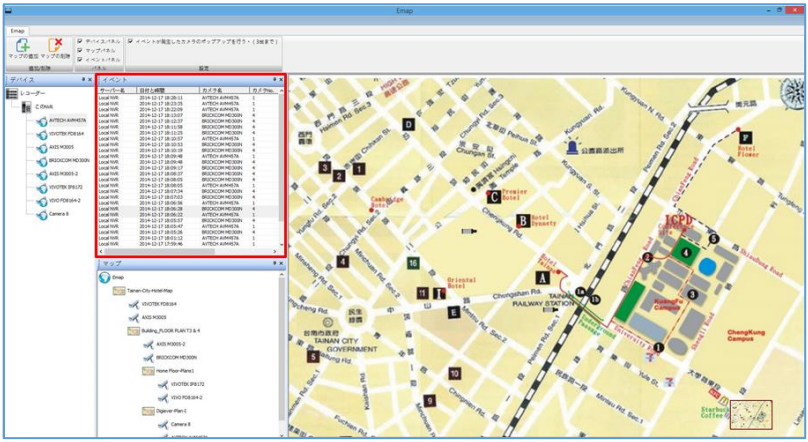
⚠ **注意:** 同時にポップアップできるカメラの最大数は４台までです。

ポップアップされたカメラのウィンドウを閉じるには、右上の×をクリックしてください。



イベント（ログ）

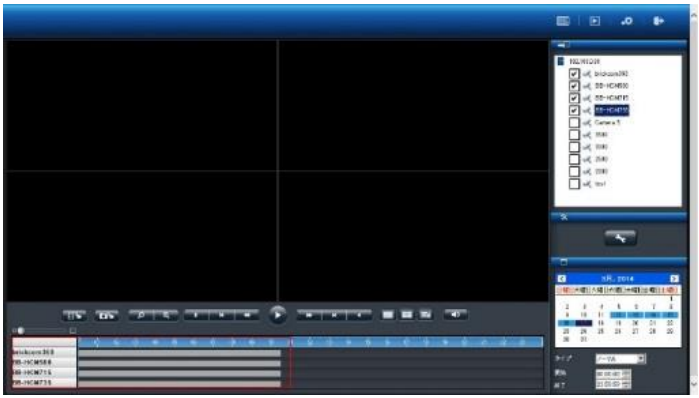
イベントの状態を確認することで、イベントの詳細な履歴をより正確に確認することができます。



3.2 録画再生

録画再生画面では、NVR に記録した録画映像を再生できます（※4 台までのカメラの記録映像を同時に再生できます）。

3.2.1 録画再生

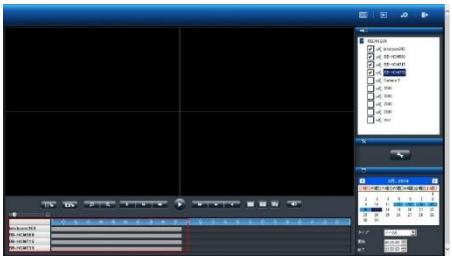


録画再生は次の手順で行います。

1. 再生したいカメラをリストから選択します。
2. 再生したい日付と時刻を選択します。
3. 再生したい録画映像のタイプを選択します。
4. 「再生」ボタンをクリックします。

1. カメラの選択

再生を行いたいカメラにチェックを入れてください。



※再生したいカメラにチェックを入れると、タイム・テーブルにそのカメラの名称と録画している時間帯を示すグラフが表示されます。

2.日付と時刻の選択

再生したい日付と時刻を指定してください。選択したカメラが録画を行っている日付がカレンダー上で青色（通常録画）表示されます。再生する日付をカレンダーで指定し、開始時刻と終了時刻を選択します。

3.録画タイプの選択

通常録画（灰色）、イベント録画（赤色）、ビデオ・クリップ（黒色）、修復されたファイル（青色）、夏時間（緑色）を選択してください。

4.「再生」をクリック

「再生」ボタンをクリックして再生を行ってください。

フレーム単位の再生（コマ送り再生）

1. 「一時停止」ボタンをクリックします。
2. 「1 コマ戻す（前のイメージ）」または「1 コマ進める（次のイメージ）」ボタンをクリックします。

●スケール・バー

スケール・バーを操作することでタイム・テーブルの表示を拡大 / 縮小できます。

●スクロール・バー

スクロール・バーを操作することで、任意の時間の録画映像を再生できます。

注意：スクロール・バーは再生中のみ使用できます。

●サムネイル機能

グラフにマウス・オーバーすることでその時間の静止画像が表示されます。

⚠ **注意：この機能は一時停止中のみ使用できます。**

3.2.2 録画再生画面の主な機能

1. 表示モード

分割表示を変更する場合は、再生バーの右のアイコンで変更を行ってください。

また、各カメラの録画映像の時間は、カメラの左上に表示されます。

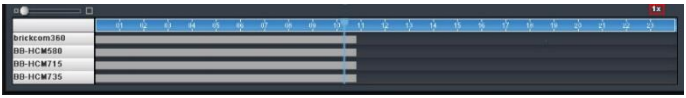
2. デジタル・ズームイン / アウト

選択したカメラの再生映像を電子ズームすることができます。再生バー左側の虫眼鏡のマークをクリックして使用してください。

3. 録画再生時の操作

①**一時停止：**録画再生を一時的に停止します。
②**前のイメージ：** 1コマ前に戻ります。
③**スロー再生：**再生速度を落とします。
④**再生：**録画映像を再生します。
⑤**高速再生：**倍速再生を行います。
⑥**次のイメージ：**コマ送りを行います。
⑦**逆再生：**録画映像を逆再生します。
※再生速度はスクロール・バーの右上に表示されます。

4. 消音



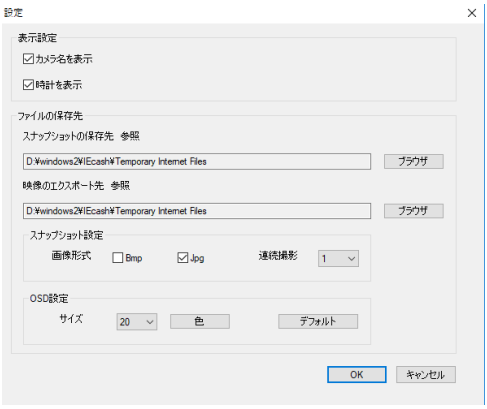
「消音」ボタンをクリックすると、音声のミュートを行います。もう一度ボタンを押すことでオーディオ再生のオン／オフを切り換えられます。

5. スナップショット

「スナップショット」ボタンをクリックすると、選択しているカメラの静止画像を保存します。

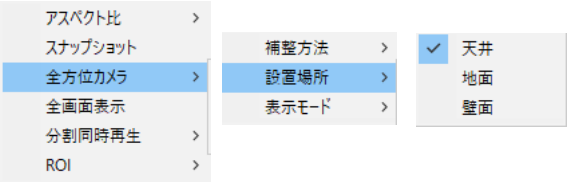
●録画再生時の連続スナップショット

複数のスナップショットを１度のクリックで取得できます。
デフォルトは「1」で、画面右の再生設定ボタンより変更し、最大 5 枚の連続静止画像をワン・クリックで撮影できます。



6. 全方位カメラの映像補整

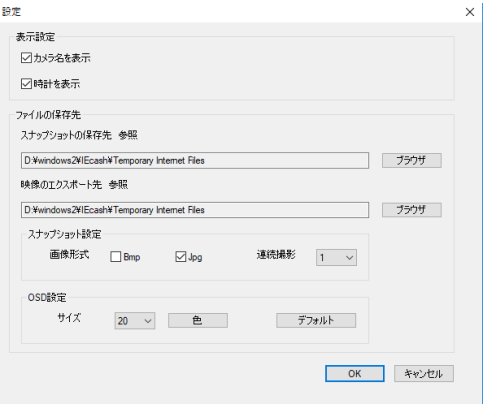
カメラを右クリックしメニューにて全方位カメラを選択、補正したカメラの映像を表示できます。



7. OSD の色とサイズの変更

録画映像で表示される OSD（On Screen Display）の設定を変更できます。

1）画面右の「再生設定」をクリックします。



2）文字のサイズをドロップダウン・メニューから選択してください。

3）「色」をクリックするとパレットが表示されます。表示したい文字の色を選択してください。

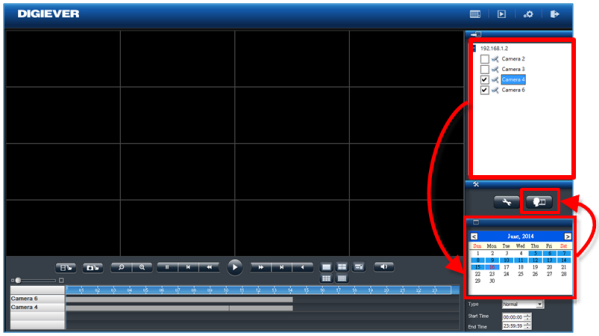
デフォルトボタン

“Default”ボタンをクリックすることで,OSD及びフォントのサイズ・色をデフォルトに戻します。

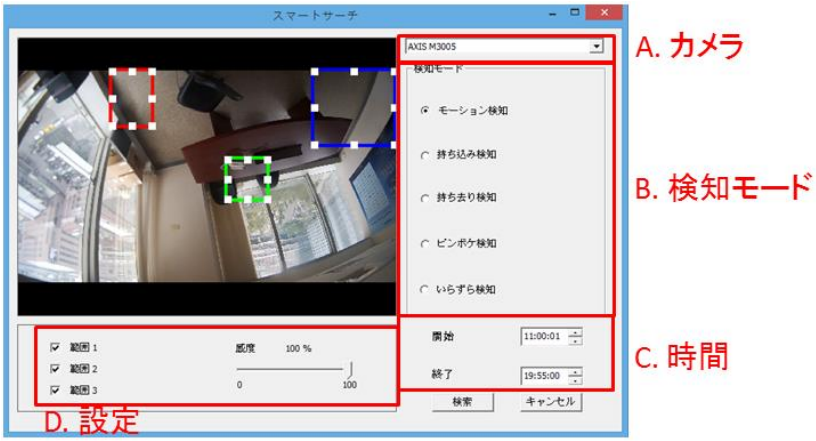
3.2.3 スマートサーチ機能

録画再生映像を元に、**モーションの検知、持ち込み検知、持ち去り検知、いたずら検知、ピンボケ検知**を行えます。

リストからカメラを選択し、スマートサーチを行いたい日付を選択→"スマートサーチ"ボタンを押して画面を移行してください。



カメラを選択し、カメラの検知モード、開始時間、終了時間を入れ"検索"ボタンを押してください。



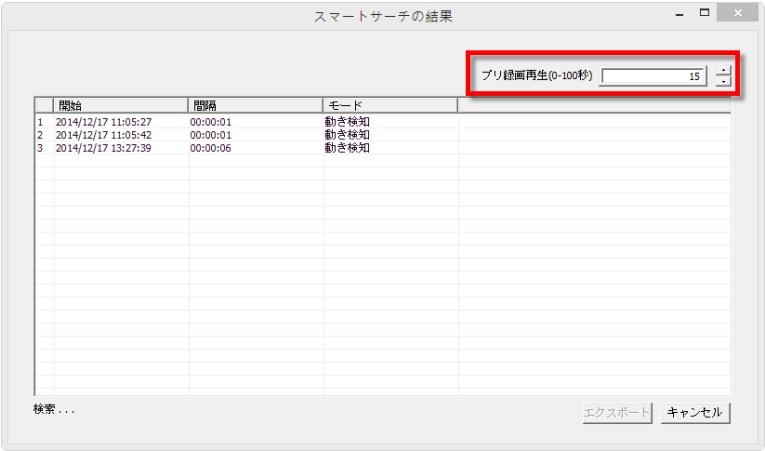
設定の概要:

(1) 物体の大きさ: 検知する物体の大きさ

⚠ **注意:** モーションの検知, 持ち込み検知、持ち去り検知には物体の大きさの調整が必要です。

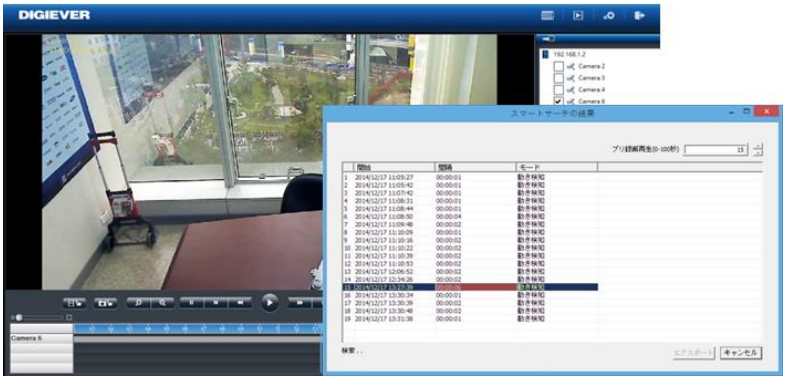
(2) 感度: 検知する感度

(3) インターバル: その物体が指定した領域に存在する（しない）期間



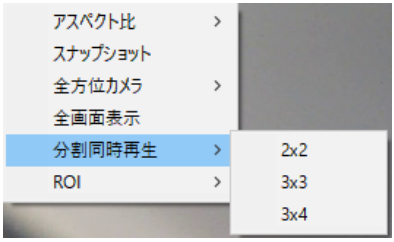
スマートサーチの結果が表示されます（※録画の再生を行う前にプリ録画再生の秒数の変更をしたい場合、右上の“プリ録画再生”にて０秒～１００秒の間で期間の変更を行ってください）。

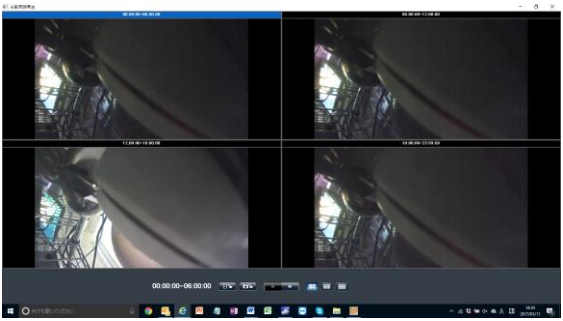
その後、再生を行いたいリストをダブルクリックすることにより再生を行ってください。



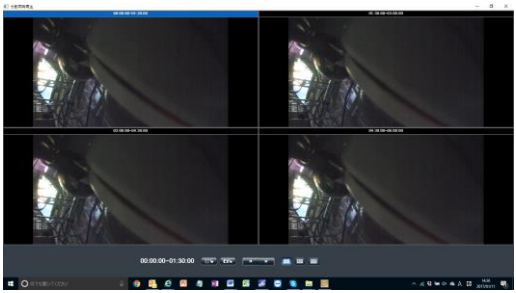
3.2.4 同一カメラの分割同時検索機能

再生時にカメラ上で右クリックを押すと下記のメニューが表示され、同一カメラの分割同時表示が行えます。
※まずはじめに、1 日のデータを分割し画像表示します。





その中の 1 つの画面をクリックすると、
その時間範囲がさらに x 分割されデータが表示され絞り込みが可能です。。



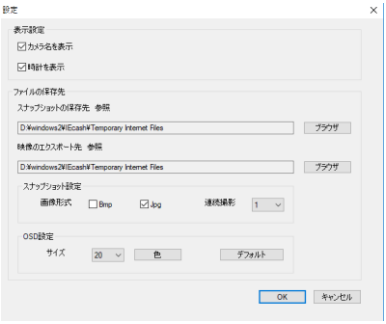
また、検索を行ったのち、取得したいデータをエクスポートし再生を行うこともできます。

3.2.5 ファイルのエクスポート

エクスポート機能を用いることで、録画映像を NVR から取り出せます。

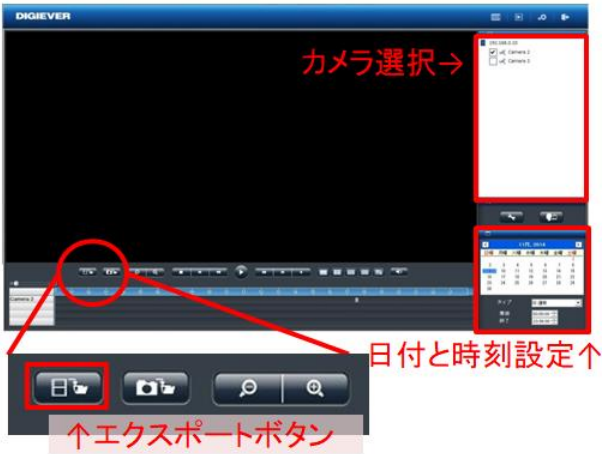
1）映像のエクスポート先の決定

「設定」ボタンをクリックして設定ウィンドウを表示してください。「映像のエクスポート先」に示されるフォルダに保存されます。

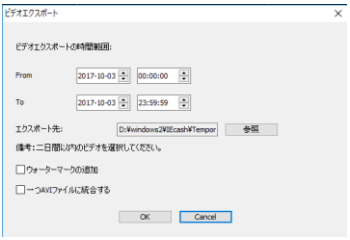


2）録画ファイルのエクスポート

カメラ、録画映像のタイプ、日付と時間を選択し「エクスポート」ボタンをクリックしてください。

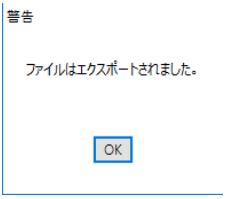


エクスポートボタンをクリックすると下記の画面が表示されます。



“OK”を押すと、DIGIPlayer と DIGICheck を録画映像とともにダウンロードするかどうかを確認するウィンドウが表示されます。

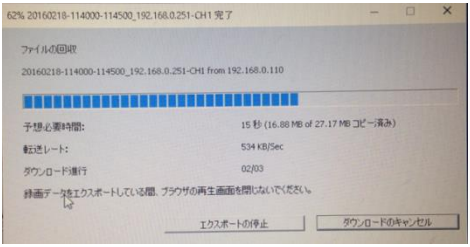
- NVRPlayer は NVR に保存された録画映像を再生するプレイヤーです。
- NVRCheck は、録画映像ファイルが DIGISTOR で作成されたものかどうかを確認するためのツールです。



上記のダイアログが表示されるとファイルのエクスポートの完了です。

4）エクスポートのキャンセル

データ転送中に「キャンセル」をクリックすることで中止できます。



3.2.6 エクスポートしたファイルの再生

1) エクスポートを行うとフォルダが生成され、フォルダにアクセスを行うと下記のフォルダが確認できます。

（※エクスポート時に NVRPlayer 及び、NVRCheck をダウンロードした場合）

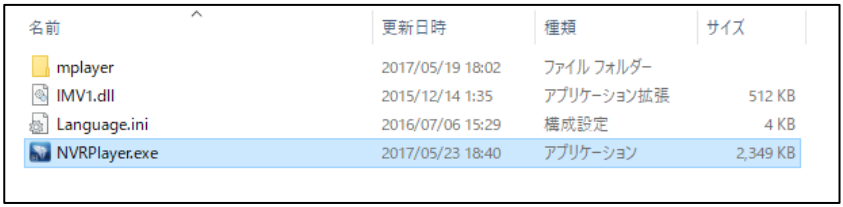
名前	更新日時	種類	サイズ
DS-4205test_fcaa14f737e4	2017/10/04 10:52	ファイル フォルダー	
NVRCheck.exe	2017/10/04 10:53	アプリケーション	515 KB
NVRPlayer.exe	2017/10/04 10:53	アプリケーション	17,770 KB
Playlist.list	2017/10/04 10:53	LIST ファイル	1 KB

2) NVRPlayer.exe を選択しファイルを展開してください。

3) 7z フォルダを展開すると上記のフォルダが現れるのでそのフォルダをクリックしてください。

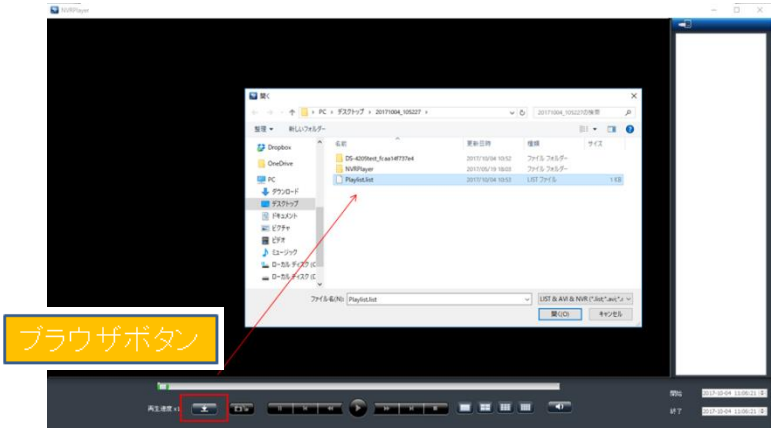
NVRPlayer	2017/05/19 18:03	ファイル フォルダー

4) NVRPlayer.exe をクリックして Player を起動してください。



名前	更新日時	種類	サイズ
mplayer	2017/05/19 18:02	ファイル フォルダー	
IMV1.dll	2015/12/14 1:35	アプリケーション拡張	512 KB
Language.ini	2016/07/06 15:29	構成設定	4 KB
NVRPlayer.exe	2017/05/23 18:40	アプリケーション	2,349 KB

NVRPlayer の起動後、左下のブラウザボタンを押し、ダウンロードしたフォルダ内にある Playlist.list を選択してください。



5)　選択するとエクスポートを行ったカメラが右に表示されるので、再生を行いたいカメラを選択、再生ボタンをクリックすると録画の再生を行います。
※スナップショットを取得したい場合は、再生ボタン左のスナップショットボタンを押してください。

※LD にてエクスポートを行う場合は、7z フォルダをクリックしての
NVRPlayer の展開は必要ありません。

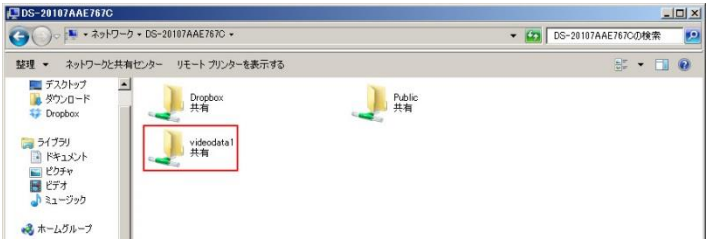
3.3 PC による録画フォルダへのアクセス（SMB/FTP）

Windows ネットワーク、または FTP サービスを使って映像ファイルにアクセスできます。
注意：使用するサービスは、「ネットワーク共有サービス」ページで有効にしてください。

ファイル共有ページの「リンク」ボタンをクリックすると、ダイアログが開きます。

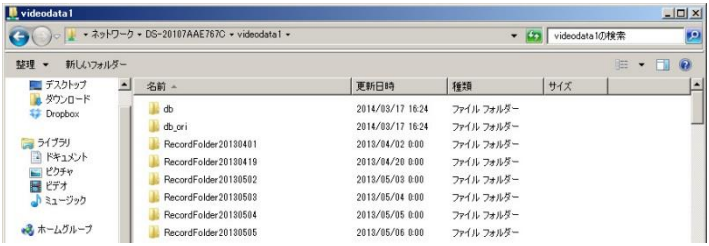
3.3.1 Windows ネットワーク

Windows のエクスプローラーにて
¥¥(IP アドレス)を入力して直接録画ファイルにアクセスができます。



「videodata1」のフォルダの中に録画映像が保存されています。
クリックすると日付ごとのフォルダが表示され、フォルダ内には「RecordFolder」という名のフォルダが時系列で並んでいます。
録画映像は 5 分ごとのファイルで保存されています。

(※削除はできません)
また、コピーしたファイルは、NVRPlayer にて再生をしてください。

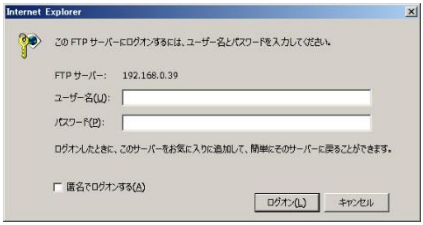


3.3.2 FTP サービス

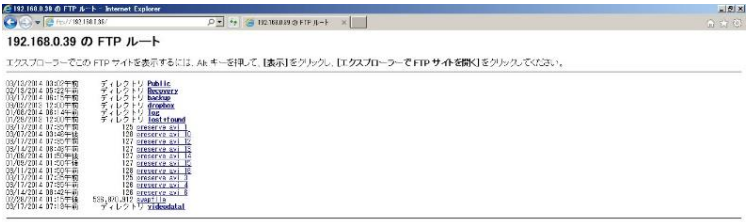
Internet Explorer を使って FTP サービスを利用できます。アドレス・バーに

ftp://（NVR の IP アドレス）

を入力して「Enter」を押してください。管理者のユーザー名とパスワードを使用してアクセスを行って下さい。



ログオンするとフォルダー一覧が表示されます。「videodata1」をクリックします。



フォルダ内には「RecordFolder」という名のフォルダが時系列で並んでいます。その中に録画ファイルが 5 分ごとに保存されています。

4.0　ローカル・ディスプレイの操作

4.1 NVR へのログイン

NVR にログインを行います。
ユーザー名とパスワードを入力してください。
※デフォルトの管理者ユーザー名、パスワードは admin/admin となります。

解像度：
解像度 1920 x 1080 または 1024 x 768 を選択できます。

4.1.1 バーチャル・キーボード

ユーザー名、パスワード入力時に USB キーボードを NVR の USB に接続するか、バーチャル・キーボードを使用してください。下記の赤枠をクリックすることでバーチャル・キーボードを表示します。

バーチャル･キーボードには小文字、大文字、記号の 3 モードがあります。

4.2 ライブ表示

4.2.1 ライブ表示モードの選択

右上四つのボタンで表示モードを切り替えます。

モード	内　容
	ライブ表示： ライブ映像を表示します。
	録画再生： 録画した映像を再生するページを表示します。
	設定： カメラ、録画、イベント、管理、ネットワークなどを設定するページを表示します。
	ログアウト： NVR からログアウトする時にクリックします。

4.2.2 ライブ表示の主な機能

1. カメラの状態

アイコン	内　容
	カメラ名： 映像ウィンドウ左上にカメラの名称が表示されます。「設定 ＞ カメラ ＞ カメラ設定」で名称を変更できます。
	映像圧縮形式： M-JPEG / MPEG-4 / H.264 のいずれかです。
	オーディオ： カメラがオーディオ機能をサポートしていると、アイコンが青色で表示されます。サポートしていない時は灰色で表示されます。
	イベント： イベントが発生するとアイコンで通知します。
	録画状態： カメラが録画中かそうでないかを表示します。
	青色の枠： ウィンドウを選択すると枠が青色で強調表示されます。

2. NVR の情報

1）ファームウェア・バージョン

ライブ表示ページに NVR のファームウェア・バージョンが表示されています。

2）ディスク・CPU 使用量

設定ページへ移動しなくても、ディスクと CPU の使用量を確認できます。

使用量が 70%以下なら青色で、70%以上になると赤色で表示されます。

解像度や FPS、画質の変更や、RAID を作成中は CPU の使用量が大きくなります。常時 70%以下になるよう、設定に注意してください。

3. 基本機能

アイコン	内　容
	スナップショット： 選択したカメラの静止画像を撮影します。 「Public > liveview_snapshot」に保存されます。 Windows ネットワークまたは FTP でアクセスできます。
	デジタル・ズームイン / アウト： 選択したカメラのデジタル・ズームを操作します。
	表示停止： 選択したカメラの表示を停止します。
	全てを表示停止： 全てのカメラの表示を停止します。
	全てを表示： 全てのカメラのライブ映像を表示します。

	消音： カメラのオーディオ・ボリュームをゼロにします。
	日付と時間： 現在の日付と時間を表示します。

4.表示モード

表示レイアウトを変更できます。アイコンをクリックしてください。
選択中のレイアウトはアイコンが青色で表示されます。

アイコン	内　容
	全画面表示
	シングル表示
	4 分割表示
	9 分割表示
	12 分割表示
	16 分割表示
	20 分割表示
	3, 5 ,25,30,36,42,49,56,64 分割表示
	5+1 分割表示

	シーケンシャル・モード。特定ページを表示したい時はドロップダウン・メニューから選択してください。

5.PTZ 制御

PTZ 機能を持つカメラは、ライブ表示ページでその操作を行えます。以下は制御アイコンですが、カメラの機種によって対応していない機能もあります。

アイコン	内　容
	PTZ 操作： 選択したカメラのパン、チルト、ズーム操作を行えます。クリックした矢印の方向にカメラが向きを変えます。中央の「家（ホーム）」ボタンをクリックすると、ホーム・ポジションに戻ります。
	プリセット・ポジション： カメラにプリセット・ポジションを登録していたら、その位置情報に基づいてカメラの向きを換えます。
	光学ズームイン / アウト： 選択したカメラのズームイン / アウトを制御します。
	フォーカスの調整： カメラが PTZ 機能をサポートしている場合、マニュアルでフォーカスの調整が可能です。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： 巡回するプリセット・ポジションを「セット」で選択します。巡回回数及びプリセット・ポジション間の移動間隔を設定してください。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： 「Go」をクリックすると巡回が始まります。

6.イベント・ログ

モーション検知機能を使用している時、検知するとアイコンが点滅します。アイコンをクリックするとログ・ウィンドウがポップアップします。

4.2.3 映像設定

警告設定やウィンドウ設定、シーケンシャル・モード設定など、ライブ表示全般の設定を行います。

1）ライブ設定

●表示サイズ変更を全カメラに適用

映像ウィンドウ上での右クリック→アスペクト比→「オリジナルのサイズ」または「ウィンドウのサイズ」をすべて一括で切り替えます。

●イベント発生時にウィンドウを強調表示

モーション検知など、カメラがイベントを検知するとウィンドウが強調表示されます。

当該映像ウィンドウをクリックすると強調表示は終了します。

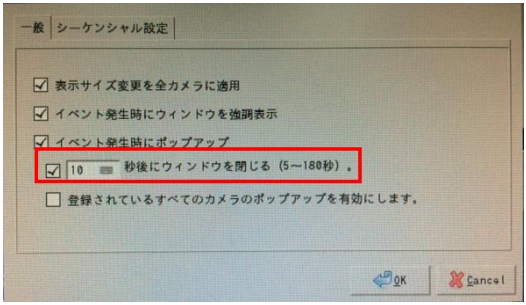
●イベント発生時にポップアップ

また、ポップアップの設定を有効にすると、イベントが発生したカメラのポップアップを行います。
※対応していないカメラもあります。

普通

イベントが発生する

ポップアップのウインドウをクリックすることで、手動でポップアップを閉じます。

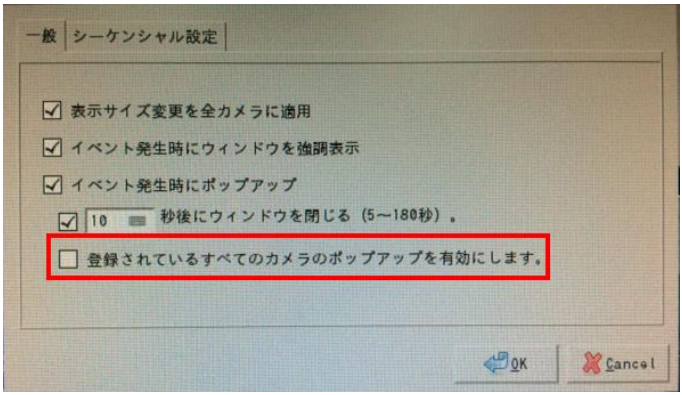


自動でポップアップを閉じる場合は「設定」内で設定を行ってください（デフォルトは 10 秒です）。

"登録されているすべてのカメラのポップアップを有効にします"を選択した場合、すべてのカメラでポップアップ動作を行います（チェックを行わない場合は表示されているカメラのみポップアップを行います）。

普通

登録されているすべてのカメラの
ポップアップ



⚠ 注意: 同時にイベントが発生した場合、最新のカメラのイベントがポップアップとして表示されます。

●デュアルディスプレーの個別モードを有効にする

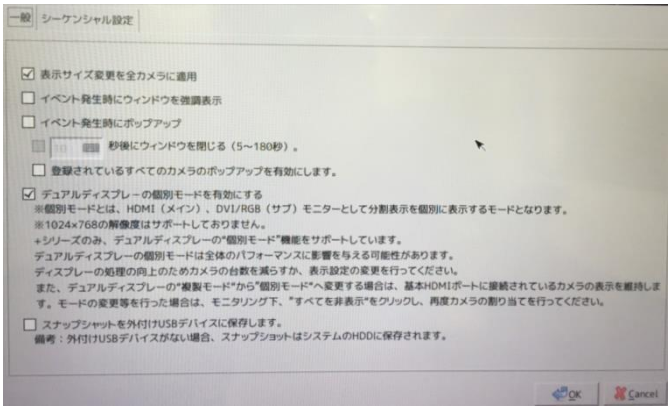
チェックすることで、HDMI、DVI/RGB モニターとして分割表示を個別に表示するモードに変更します。

※1024×768 の解像度には対応しておりません。

●スナップショットを外付け USB デバイスに保存します

スナップショット画像を外付け USB に保存します。

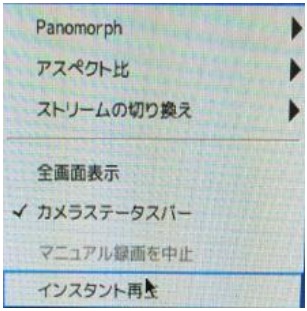
※通常モニタリング画面のスナップショットは本体に保存されます。



2）シーケンシャル・モード設定

ページの切換間隔（秒単位）を設定します。

4.2.4 オプション（映像ウィンドウ上の右クリック）



1.魚眼補整モード(panomorph)：全方位カメラ、または ImmerVision レンズを取り付けたカメラの映像を補整する際に使用できます。

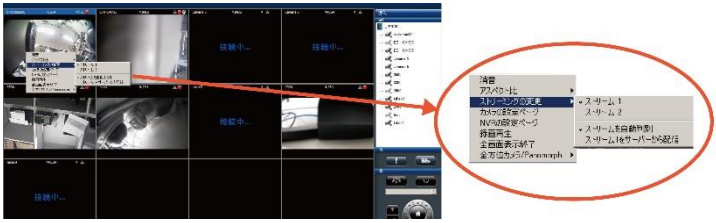
（1）全方位カメラの補整

カメラを選択して右クリックを押し、メニューにて Panomorph を選択し、補正を行いたい表示モードの変更を行ってください。

2.アスペクト比：原寸サイズ、または最大サイズ（ウインドウに合わせる）を切り替え表示できます。

3.ストリームの切り替え：表示しているストリーミングの切り替えを行います。

※マルチ・ストリームに対応するカメラであれば、二つの映像ストリームを取得できます。通常、ストリーム 1 は高画質（録画用）、ストリーム 2 は低画質（小サイズのウィンドウ表示用）に使用します。



「ストリームを自動判別」が有効の場合、選択中のレイアウトに合わせて自動的に最適のストリームが選択され、表示されます。

※ストリームをサーバーから配信の場合は、NVR 経由でストリームを配信します。

4.全画面：全画面表示を終了します。
5.カメラステータスバー：カメラ情報などのステータスを表示/非表示の切り替えができます。
6.マニュアル録画：マニュアル録画を開始、終了します。
7.インスタント再生：選択した 1 台のカメラの即時再生を行います。

4.3 録画再生

録画再生画面に移行すると、NVR に記録した録画映像を再生できます。
※4 台までのカメラの記録映像を同時に再生できます。

4.3.1 録画再生

録画再生は次の手順で行います。

1.再生したいカメラをリストから選択します。
2.再生したい日付と時刻を選択します。
3.再生したい録画映像のタイプを選択します。
4.「再生」ボタンをクリックします。

1.カメラの選択

４台以下のカメラを選択して再生できます。

2.録画タイプの選択

再生したい日付と時刻を指定してください。
選択したカメラが録画を行っている日付がカレンダー上で青色（通常録画）表示されます。
再生する日付をカレンダーで指定し、開始時刻と終了時刻を選択します。

3.録画タイプの選択

録画のタイプには、通常録画（灰色）、イベント録画（赤色）、ビデオ・クリップ（黒色）、修復されたファイル（青色）、重複している時間帯（緑色）があります。選択した録画のタイプによって日付の色が変化します。

4.「再生」をクリック

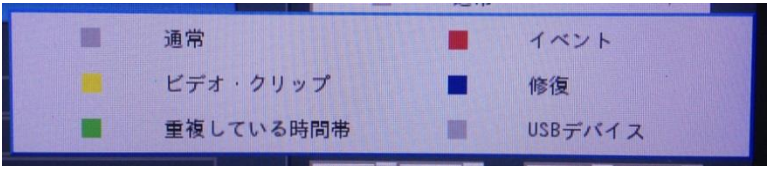
「再生」ボタンをクリックすると再生が始まります。

フレーム単位の再生（コマ送り再生）

1.上記四つの手順に従います。
2.「一時停止」ボタンをクリックします。
3.「1 コマ戻す（前のイメージ）」または「1 コマ進める（次のイメージ）」ボタンをクリックします。

録画タイプの選択:

イベント録画等で録画されたデータを再生するには、通常録画（グレー）、イベント（赤）、ビデオクリップ（黄）、修復ファイル（青）、重複している時間帯（緑）、USB デバイス（グレー）を選択した上で検索を行います。



検索上の録画データの色帯に関しても上記の色により種別されます。

＝録画タイプ＝

1)　通常録画（グレー）：

通常録画：常時録画やスケジュール等で設定を行い、録画を行ったファイル。（※イベント、重複した時間帯等以外の録画ファイル）

2)　イベント（赤）：

イベントファイル 動体検知などのイベントが発生した際の録画ファイル。（※詳細は **5.2.3 イベントと動作の管理を参照）**

3)　ビデオクリップ（黄）：

ビデオクリップ 設定> イベントと動作の管理> 詳細設定内で設定されたビデオクリップファイル。

4)　修復（ブルー）：

修復ファイル 不意に NVR の電源が落ちた場合など、バッファされている出来る限りのデータを保全し、修復を行ったファイルです。（※電源が落ちている間の録画データは修復できません）

5)　重複している時間帯（緑）：

重複している時間帯 録画時間の変更を行った際に重複される時間の録画データを表示します。

6)　USB デバイス（グレー）：

バックアップを行った録画ファイルをチェック用に確認できます。クリックするとフォルダが表示され、フォルダ内(playlist.list)をクリックすることでバックアップファイルを再生できます。

4.3.2 録画再生の主な機能

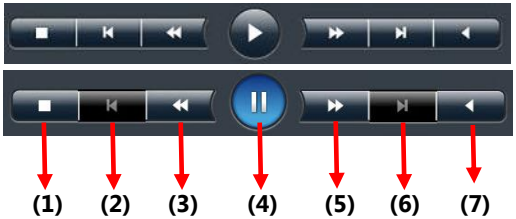
1.表示モード

再生バー右の表示モードアイコンにて分割画面の変更が行えます。
また各カメラの録画映像の時間は、カメラの左上に表示されています。

2.デジタル・ズームイン／アウト

選択したカメラの映像を拡大/縮小する際に使用します。元のサイズに戻す時はデジタル・ズームアウトを使用してください。

3.録画再生時の操作



①停止：録画再生を停止します。
②前のイメージ：１コマ前に戻ります。
③スロー再生：再生速度を落とします。
④再生と一時停止：録画映像を再生します。もう一度押すと録画再生を一時停止します。
⑤高速再生：再生速度を上げます。
⑥次のイメージ：１コマ先に進めます。
⑦逆再生：録画映像を逆再生します。
再生速度はスクロール・バーの左に表示されています。

4.スケール・バー

スケール・バーを操作することでタイム・テーブルの表示を拡大 / 縮小できます。

5.スクロール・バー

スクロール・バーを操作することで、任意の時間の録画映像を再生できます。

⚠ **注意：**スクロール・バーは再生中のみ有効になります。

4.3.3 音声の再生

選択中のカメラの音声を再生できます。

アイコン	内　容
	消音： 再生中の録画映像の音声をミュートします。再度クリックすると音声を ON にします。
	音量ダウン： 再生中の記録映像の音声ボリュームを下げます。
	音量アップ： 再生中の記録映像の音声ボリュームを上げます。

4.3.4 スナップショット

ローカル・ディスプレイでの再生中にもスナップショットを撮影できます。USB の保存メディアを NVR の USB ポートに接続してください。「スナップショット」ボタンをクリックすると静止画像が保存されます。

4.3.5 録画映像のエクスポート

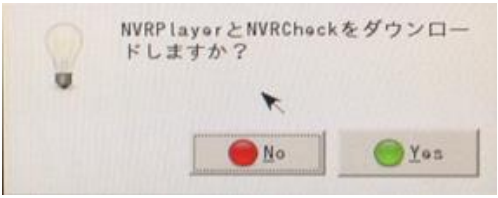
映像の取り出し機能は USB デバイス（フラッシュメモリ）、USB-DVD（※推奨品）等を使用してバックアップが可能です。

カメラ、日付、時間を選択し、エクスポートボタンを押してください。
※USB デバイスのフォーマットは FAT を使用してください

エクスポートボタンを押すと上記の画面が表示されます。エクスポートを行いたい日付と時間を選択してください。
※想定容量をクリックすると USB メモリとコピー容量の確認ができます。

OK をクリックするとエクスポートが開始されます。
※パスワード保護の設定を行っている場合は、ここでパスワードを入力する画面が表示されます。
※NVRPlayer は、録画再生を行うための再生専用プログラムです。
※NVRCheck は、録画ファイルの改ざんをチェックするチェックツールです。.

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
USB DVD を使用する場合は、録画検索と同様に日付、時間を選択した後、バックアップボタンを押してください。その後、下記のようなメッセージが表示されます。



YESを選択後、エクスポートがはじまります。

※パスワード保護の設定を入れている場合は、ここでパスワードを入力する画面が表示されます。

“録画映像をエクスポートしました“というダイアログが表示されるとエクスポートが完了です。

※エクスポートファイルの再生方法は、3.2.6「エクスポートしたファイルの再生」をご参照ください。

4.4 その他

4.4.1 ローカル・ディスプレイのスクリーンショット

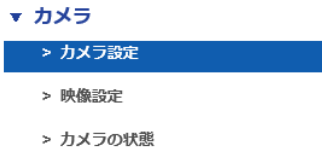
キーボードを接続し「PrtSc SysRq」を押すとローカル・ディスプレイの全画面が NVR の共有フォルダ「Public」内に保存されます。PC を使って Windows ネットワーク、または FTP でファイルにアクセスできます。

※Windows ネットワーク、FTP サービスを使用する際は、設定ページの「ファイル共有」設定より設定を行ってください。

5.0 設定

注意：設定ページを表示してから待機時間が 10 分を経過すると、セキュリティのために自動的にログアウトします。

5.1 カメラ設定

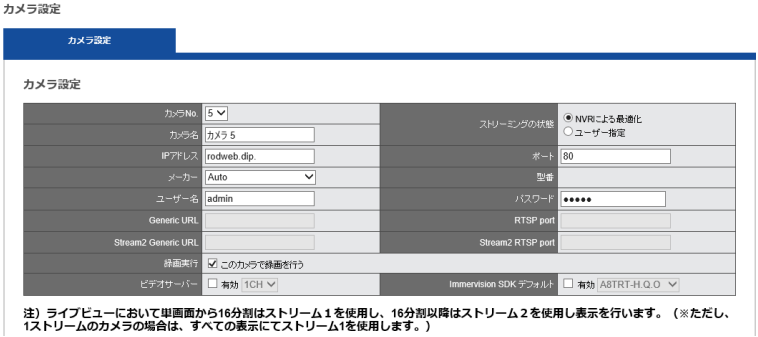


5.1.1 カメラ設定

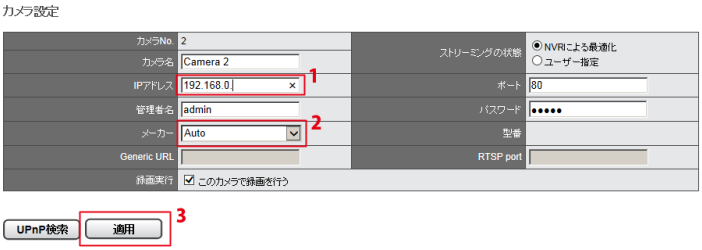
手動または UPnP/Onvif 検索でカメラを NVR に登録します。

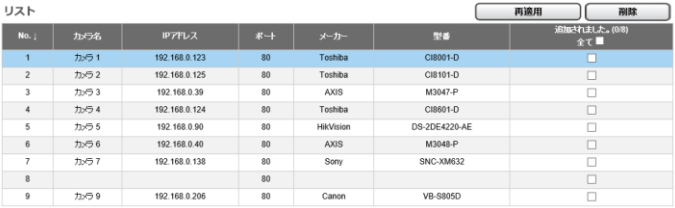
1.カメラ設定

手動で IP アドレスを入力し、メーカー名を選択します。その後、「適用」をクリックしてカメラを登録してください。



カメラ名（任意）、ユーザー名、パスワードを入力してください。
※カメラのユーザー名、パスワードは管理者のものを使用してください（カメラによっては、自動的にユーザー名、パスワードにデフォルト値が入力されるものもあります）。
※ID とパスワードは 1 文字から 32 文字の間で入力してください。





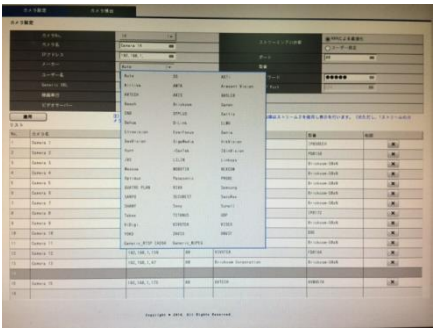
登録が完了すると、リストにカメラ名、IP アドレス、ポート番号、メーカー名、機種名が表示されます。

カメラの登録が完了したら、「次へ」をクリックしてください。

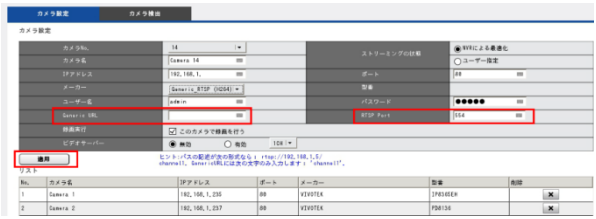
また、カメラリスト右のチェックボックスにチェックを入れ、「**削除**」ボタンをクリックすることで NVR からカメラの登録の削除を行えます。

●Generic RTSP/ Generic M-JPEG

DIGISTOR は、正式対応していないカメラであっても、RTSP/ M-JPEG のストリーミングを取得するための URL がわかれば、Generic 登録できます。取得したストリーミングはライブ表示、録画に用いられます（※あくまでテスト用の機能です）。



Generic URL の欄に、URL を入力してください。RTSP を使用する時は RTSP ポートの欄も入力する必要があります。



「適用」をクリックすると設定が反映されます。

URL はメーカーにお問い合わせください。また、参考に。。。。
- https://www.soleratec.com/rtsp/
- http://www.ispyconnect.com/sources.aspx

2.UPnP/Onvif 検索

「UPnP/Onvif 検索」をクリックすると、同一サブネット上のカメラを検索します。検索できるのは UPnP/Onvif 機能を持つカメラだけです。一部のカメラ（Panasonic iPro など）は起動後、一定時間のみ UPnP で検索できます。

検索中の画面です。しばらくお待ちください。

登録可能なカメラが一覧表示されます。リストから「追加」をクリックして必要なカメラを追加してください。

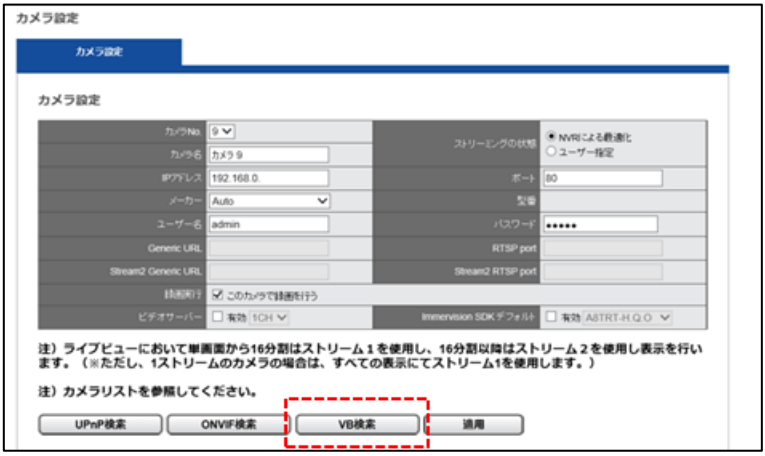
登録したカメラはカメラ名、IP アドレス、ユーザー名、パスワード、ポート、メーカー名、機種名が表示されます。「適用」をクリックしてカメラを登録します。

注意：カメラ名、ユーザー名、パスワードは変更できます。ユーザー名とパスワードは初期値が表示されますが、変更すると NVR 側はそれを初期値として登録します。

登録が終わったら「次へ」をクリックします。

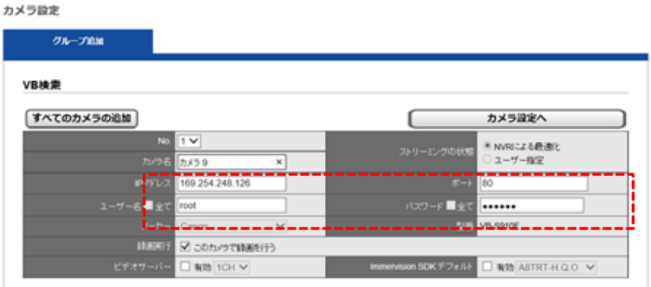
3.VB 検索（※特定の Canon 製カメラのみ）

VB 検索をクリックすると、カメラが検索されリストとして表示されます。※キヤノン製カメラとの組み合わせで使用できる初期設定検索となります。使用できるカメラ等の内容は弊社 HP を参考ください。検索を行えても設定できないカメラもあります。



登録を行いたいカメラを選択します。

カメラ名、IP アドレス、ユーザー名を任意で入力して下さい。

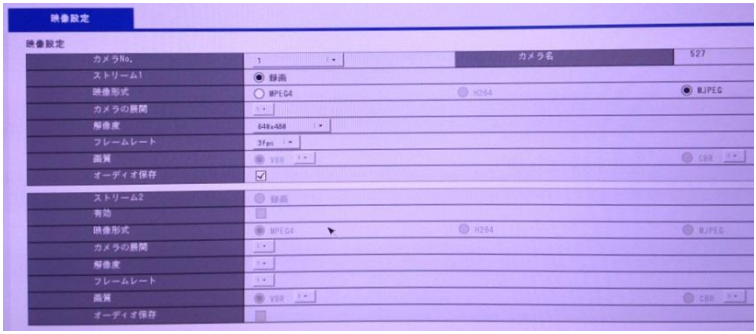


"すべてのカメラの追加"ボタンを押すと設定を開始します。カメラの登録にはしばらく時間がかかります。

※ローカルネットワークのみで使用できる機能です。
※カメラは初期状態である必要があります。
※ネットワーク設定内にある DHCP の機能を使用すると、より簡単に設定することが可能です。

5.1.2 映像設定

メニューの中の「映像設定」を選択してください。



カメラがマルチ・ストリームに対応している場合、NVR は 2 本のストリームを取得できます。ストリーム 1 は録画用（※1～12 分割表示に使用するライブ映像用）、ストリーム 2 は 16 分割以上のライブ映像を表示するために使い、通常は低画質設定を行います。それぞれ最適の解像度、フレームレート、画質を設定してください。

リスト

No.	カメラ名	IPアドレス	メーカー	型番	カメラへのリンク
1	brickcom360	192.168.0.80	Brickcom Corporation	Brickcom-30xN-360	ブラウザで開く
2	BB-HCM580	192.168.0.201	Panasonic	BB-HCM580	ブラウザで開く
3	BB-HCM715	192.168.0.73	Panasonic	BB-HCM715	ブラウザで開く
4	BB-HCM735	192.168.0.253	Panasonic	BB-HCM735	ブラウザで開く
5	Camera 5	192.168.0.78	Takex	NxC-130P	ブラウザで開く
6	Camera 6	192.168.0.81	Takex	NBC-130P	ブラウザで開く
7	3500	192.168.0.143	SANYO	VCC-HD3500	ブラウザで開く
8	3300	192.168.0.195	SANYO	VCC-HD3300	ブラウザで開く
9	2500	192.168.0.144	SANYO	VCC-HD2500	ブラウザで開く
10	takex3	192.168.0.82	Takex	NSC-130	ブラウザで開く
11	2300	192.168.0.165	SANYO	VCC-HD2300	ブラウザで開く
12	test	192.168.0.135	iCanTek	test349M	ブラウザで開く
13	takex4	192.168.0.79	Takex	NxC-130P	ブラウザで開く
14					ブラウザで開く
15					ブラウザで開く
16					ブラウザで開く

映像設定を行う時は、先に下段にあるカメラリストから、設定したいカメラを選択してください。上段に設定情報が読み込まれます。

●映像形式

ライブ映像表示／録画で使用する映像形式を選択してください。

注意：選択可能な形式は機種によって異なります。

●フレームレート

ライブ映像表示／録画時のフレームレートを選択してください。実際に表示／録画できるフレームレートはネットワークの環境に依存します。

●解像度

ライブ映像表示／録画で使用する解像度を選択してください。

●画質

VBR（流動的なビットレート）か CBR（固定的なビットレート）を選択し、画質を選んでください。

●音声

音声機能を使用する際はチェックを入れてください。

「カメラの設定」ページから、カメラの設定ページへ移動することができます。

5.1.3 カメラの状態

「カメラの状態」をクリックすると NVR に登録しているカメラのステータスを確認できます。

カメラの状態

カメラの状態

カメラの状態

No.	カメラ名	IPアドレス	接続状態	録画状態	フレームレート(fps)	ビットレート(Kbps)	映像形式	解像度	Via Streaming Server
1	カメラ 1	192.168.0.123	接続しました	録画中	5 fps	1026.7 Kbps	H264	1920x1080	----
2	カメラ 2	192.168.0.125	接続不良	停止	0 fps	0 Kbps	H264	1280x720	----
3	カメラ 3	192.168.0.39	接続しました	録画中	30 fps	1746.2 Kbps	H264	480x480	----
4	カメラ 4	192.168.0.124	接続しました	録画中	4 fps	976.8 Kbps	H264	1280x720	----
5	カメラ 5	192.168.0.90	接続しました	録画中	15 fps	1439.6 Kbps	H264	1280x720	----
6	カメラ 6	192.168.0.40	接続しました	録画中	30 fps	8223.3 Kbps	H264	480x480	----
7	カメラ 7	192.168.0.138	接続しました	録画中	3 fps	1094.6 Kbps	H264	1280x720	----
8			-	-	0 fps	0 Kbps			----
9	カメラ 9	192.168.0.206	接続しました	録画中	30 fps	2131.0 Kbps	H264	1280x960	----
						16635 Kbps			

接続状態が「接続しました」は、カメラと NVR が正常に接続できている状態を表します。「接続不良」は何らかの理由で接続できていない状態です。ただし、イベント録画でイベントが発生していない時やスケジュールされていない時間帯は録画状態が「停止」ステータスになります。

5.2 録画とイベント

5.2.1 録画モード

録画モードには「No Recording（録画しない）」「スケジュール録画」「常時録画」の 4 タイプあります。カメラごとにモードを設定できます。

●**No Recording：**全てのカメラで録画をしないモードです。

●**スケジュール録画：**決められたスケジュールに従って録画を行うモードです。「録画スケジュール」タブでスケジュールを作成します。

※アラーム録画を行う場合もこちらを選択します。

●**常時録画：**連続的に録画するモードです。

DIGISTOR は次の 2 通りの方法で付録録画ファイルを削除します。

●**映像形式：**NVR の録画形式を変更できます。

※デフォルトは独自フォーマットです。

●**HDD 設定：**HDD の使用率が一定の値に達すると古いファイルを削除する方法です。20～90 までの値（%）を設定してください。例えば「70」を設定すると、HDD の使用量が 70%に達すると、古いファイルから削除していき、使用率 70%を保つようにします。

（※初期値 70%）

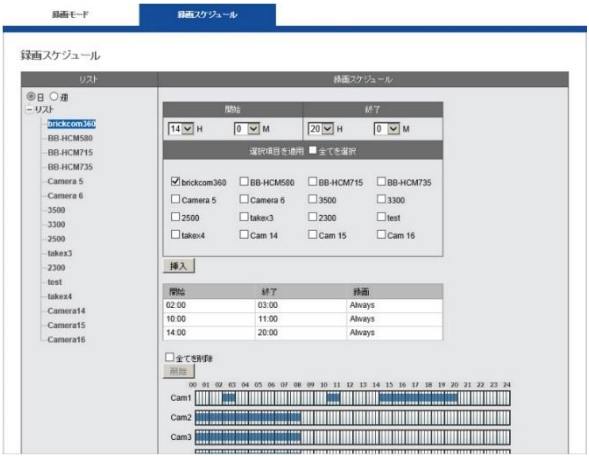
●**映像保存：**録画ファイルを保存する日数を決め、その設定した期日が過ぎたファイルを削除していきます。ただし、HDD の容量が足りず、その期日が訪れるまでに HDD の容量が一杯な状態になると、録画が停止しますのでご注意ください。
設定が終わったら「適用」をクリックして設定を反映させてください。

5.2.2 録画スケジュール

録画のスケジュールの設定を行います。

1）スケジュールの設定

カメラを選択、開始時間と終了時間を決め「挿入」をクリックしてください。

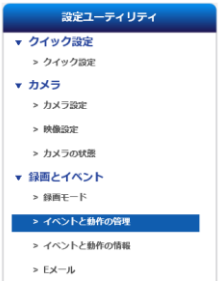


2）スケジュールの削除

削除したいスケジュールのバーをクリックし、「削除」をクリックすると、そのスケジュールが削除されます。

5.2.3 イベントと動作の管理

イベントと動作の機能を使用すると、下記イベント内容に対してポップアップ通知を行ったり、動体検知時に録画を開始するなどの機能が使用できます。



1）イベントと動作

左画面のイベントを選択し、右上の追加をクリックして設定を行ってください。

下記、トリガーイベントと動作の内容となります。

＝カメラのイベント＝

1.接続不良

カメラとの接続が途切れた時、設定した動作を行います。

2.モーション検知

カメラがモーションを検知した時、設定した動作を行います。

3.音声検知（※対応 AXIS カメラのみ）

音声を検知した際、設定した動作を行います。

4.接点入力

カメラのデジタル入力に信号が入ると、設定した動作を行います。

5.コールボタン（※アイホン製 IX-DA のみ）

ドアホンのコールボタンを押下した際に設定した動作を行います。

＝NVR のイベント＝

1.接続不良

NVR がネットワーク接続を失うと、設定した動作を行います。

2.録画エラー

NVR が録画（※書き込み）に失敗すると、設定した動作を行います。

3.UPS の警告（※対応 UPS のみ）

UPS の容量が設定値を下回ると、設定した動作を行います。

4.HDD の容量不足通知

HDD の容量が設定値を下回ると、設定した動作を行います。

5.異常シャットダウン

異常シャットダウンのログが確認されると、設定した動作を行います。

6.DigitalInput（※対応機種のみ）

NVR 側の接点入力が入った際、設定した動作を行います。

=ハードウェアのイベント=

1.CPU 温度警告（CPU Temperature Warning）

CPU の温度が規定値を超えるとこの動作を行います。

2.CPU ファン警告（CPU Fan Warning）

CPU ファンに異常があるとこの動作を行います。

3.システムのファン警告（System Fan Warning）

システムのファンに異常があるとこの動作を行います。

4.HDD エラー警告

HDD の SMART 警告が発生した場合、この動作を行います。

5. HDD Failed

HDD が故障し使用できなくなった場合、この動作を行います。

6.低バッテリー警告

7.eSATA の接続不良

8.RAID デグレード

RAID が格下げの状態になった場合、この動作を行います。

9.RAID 障害

RAID 障害が発生した場合、この動作を行います。

10.RAID の構築中

RAID 構成中にこの動作を行います。

①新しく HDD を入れた際 ② RAID の構成が終了した際 ③RAID の再構成が停止した場合に動作を行います。

11.外部イベント（HTTP-in）

外部の機器から NVR に対して HTTP-in CGI command が送信されると設定した動作を行います。全部で 5 種類の CGI command とそれに対応する動作を設定できます。

HTTP-in CGI command は次のように記述します：

http://<NVR_IP>/login.cgi/cgi_main.cgi?cgiName=event_ipc.cgi&eventName=Defined_<int>

<NVR_IP>は、外部機器が NVR にアクセスできる IP アドレスです。

<int>は、外部イベントの番号（1-5）です。

例：

http://192.168.1.245/login.cgi/cgi_main.cgi?cgiName=event_ipc.cgi&eventName=Defined_3

※外部イベントは 16 個まで作成できます。

最後に「適用」をクリックして設定を保存します。

=動作=

●イベント録画

イベント録画とビデオ・クリップの 2 種類があります。
イベント録画：イベントが発生すると 5 分間の映像を記録します。イベントが継続的に発生するとその間、録画も継続されます。
ビデオ・クリップ：E メールでビデオ・クリップを送信します。詳細設定で、イベント発生前後に記録する時間（秒数）を設定できます。
設定するカメラを選択したら「適用」をクリックします。

●E メールを送る

「E メールを送る」を選択すると、E メールの受信者を設定する画面がポップアップします。まだ受信者の設定を行っていない時は、「録画とイベント ＞ E メール」で設定します。
「スナップショットを添付」にチェックを入れていたら、イベント発生時にスナップショットを撮影してメールに添付します。
注意：カメラが接続不良の時は正常にスナップショットを撮影できないことがあります。
最後に「適用」をクリックして設定を登録します。
E メール送信は 20 秒間隔で行われます。例えば 1 分間イベントが

続いたとしたら、メールは 3 通送信されることになります。

●本体接点出力（※対応機種のみ）

デジタル出力を選択すると、「デジタル出力」設定ウィンドウが表示されます。

ブザーは、60 秒間鳴らすことができます。

注意：NVR 正面の USB バックアップ・ボタンを 1 秒間押せばブザーを止めることができます。バックアップ・ボタンがついているのは DS-8200-RM Pro(+)シリーズ、DS-4200-RM Pro(+)シリーズ、DS-4200 Pro(+)シリーズ、DS-4000 シリーズと DS-2000 Pro(+)シリーズです。

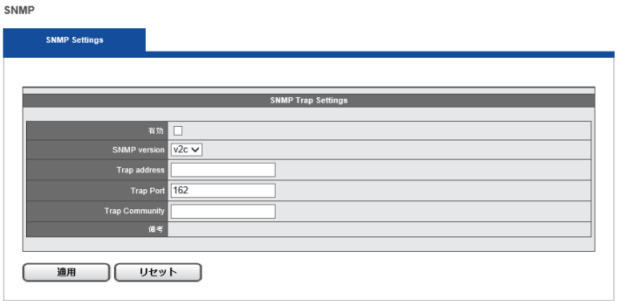
デジタル出力 1 とデジタル出力 2 は最長 60 秒間有効になります。適用するカメラを選択してください。

●ユーザー規定の動作

イベントがトリガーされた時、HTTP command をネットワーク機器に送信するよう設定できます。送信先となる機器の IP アドレスとポート番号、送信する HTTP command を「HTTP URL」に入力してください。またその機器にログインする際に必要になるユーザー名とパスワードも入力してください。

●SNMP

NVR は **SNMP（Simple Network Management Protocol）**をサポートしており、イベント発生時にその通知が可能です。
まず、メニュー内の SNMP サーバーの設定および内容を入れ「適用」ボタンを押してください。



●SMS

本機能は日本国内の SMS には対応していません。

●カメラプリセットポイント

PTZプリセット設定

※カメラプリセット数は同時に 3 点まで指定可能です。

●カメラの接点出力（※対応機種のみ）

●パトライト

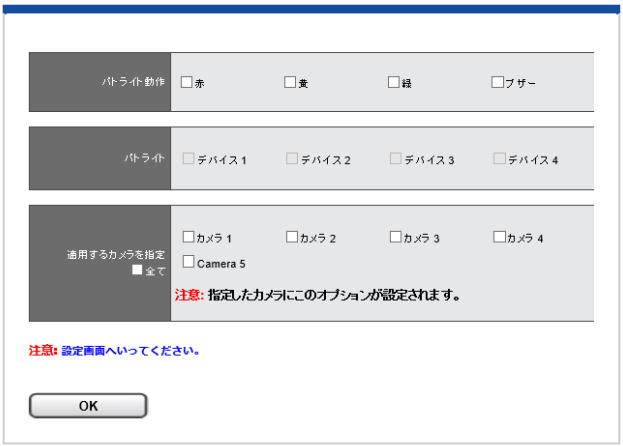
パトライト製ネットワークパトライトを使用することで、NVR のハードウェアのエラーなどをわかりやすく表示できます。

パトライト

上記設定を入力し、ネットワークパトライトを NVR に登録してください。

登録後にハードウェアのイベントにて設定を行うと、詳細な設定が可能です。

パトライト設定



※イベントの解除には、パトライト本体のボタンを押して手動でキャンセルしてください。

●ネットワークスピーカー（※対応機種：Axis C3003-E のみ）

対応しているネットワークスピーカーであれば、イベント発生時に録音されている音声を鳴らすことができます（※ネットワークスピーカーをカメラとして登録する必要があります）。

ネットワークスピーカー動作設定

●ライブ映像での通知

NVR やカメラの外部接点等と連動し、選択したカメラの強調表示、及びポップアップ表示と連動します。

5.2.4 詳細設定

●動作トリガー間隔

この間隔内でトリガーが入ると連続的に動作を行います。

●ビデオ・クリップ

検知録画時間は前後 3、5、7、10 秒で設定できます。

●録画モード

トリガーが入る前後それぞれ何秒間を録画するのかを設定します。イベント発生前 30-300 秒間、イベント終了後 30-300 秒間まで設定できます。

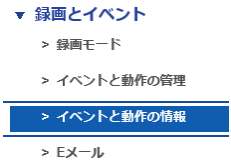
●イベント録画のみオーディオ保存

この項目にチェックを入れると、通常はオーディオを保存しませんが、イベント発生時のみオーディオを保存します。イベントが終了すると自動的にオーディオは無効になります。

「適用」をクリックして設定を保存してください。

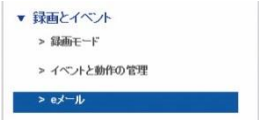
5.2.5 イベントと動作の情報

イベントと動作の情報をクリックすると設定されたイベントの情報及び、設定可能なイベントと動作情報の一覧が表示されます。



5.2.6 E メール

「録画とイベント」の「E メール」を選択して E メールに関する設定を行います。



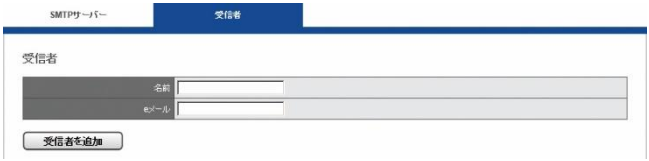
SMTP サーバー

- **サーバー・アドレス：**SMTP サーバーのアドレスを入力します。
- **送信者：**送信者の E メール・アドレスを入力します。
- **件名と本文：**メールの件名と通知文面を入力します。
- **認証：**お使いになる SMTP サーバーに応じた認証形式を選択してください。
- **ユーザー名とパスワード：**SMTP サーバーで使用する情報を入力します。

「適用」をクリックして完了するか、「テスト・メールを送信」をクリックして設定が有効かどうかを確認してください。

受信者

「受信者」タブをクリックして E メールを受信するアドレスを追加します。

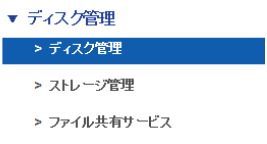


「名前」と対応する「E メール」を入力して「受信者を追加」をクリックしてください。追加すると「受信者リスト」に名前とアドレスが表示されます。
「適用」をクリックして設定を保存します。
※使用しているメールサーバーによってはセキュリティの関連でこの機能が使用できない場合もあります。

5.3 ディスク管理

5.3.1 ディスク管理

「ディスク管理」メニューの「ディスク管理」を選択してください。

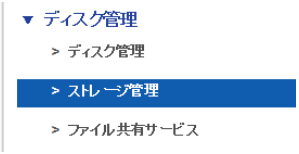


ディスク情報

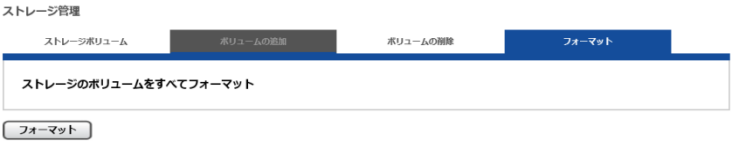
下記画面にて、HDD の状態の確認ができます。また、HDD 稼働時間によりライブ画面上でのポップアップを行いたい場合は、右下の閾値より時間の設定を行ってください。

5.3.2 ストレージ管理

「ディスク管理」メニューの「ストレージ管理」を選択してください。



ストレージボリュームでは、ディスク・ボリュームの容量、使用している容量、HDD の状態などが表示されます。



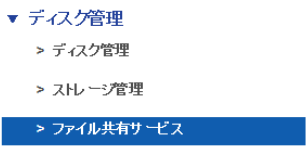
●フォーマット

フォーマットを選択するとすべての録画データが消去されます。

※フォーマットを行うには、録画の停止を行う必要があります。

5.3.3 ファイル共有サービス

「ディスク管理」メニューの「ファイル共有サービス」を選択してください。



NVR が対応しているファイル共有サービスには「Windows ネットワーク」と「FTP」の二つがあります。

1.情報

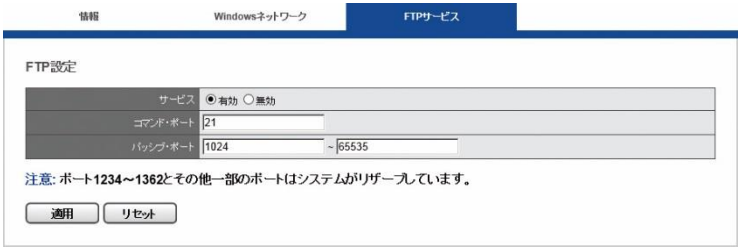
ファイル共有サービスの状態と有効／無効の切り換え、FTP 及び共有フォルダを開くことができます。

2.Windows ネットワーク

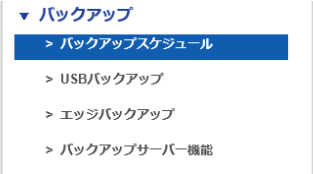
サービスの有効／無効の切り換え、コンピューター名の変更などを行えます。

3.FTP サービス

サービスの有効／無効の切り換え、使用するポートの変更などを行えます。



5.4 バックアップ



5.4.1 バックアップスケジュール

DIGIARRAY を使用したバックアップ設定になります。

（※リモートデバイスでのバックアップは開発中です）

1. ローカルデバイスを選択します。

※正常に認識されているか確認をしてください。

２．バックアップを行いたいカメラと時間帯を入力／選択してください。自動バックアップにチェックを入れるとその時間帯のデータを自動的にバックアップします。また、自動にチェックを入れない場合は、開始時間と終了時間を決定し動作させることができますが、ネットワークの帯域によりバックアップが完全に完了しないことがありますのでご注意ください。

手動のタブをクリックして手動モードにすると、バックアップボタンを押した際にこの機能が動作します。

5.4.2 USB バックアップ

USB ストレージを NVR 本体正面の USB ポートに接続すると、「デバイス情報」に USB ストレージの情報が表示されます。

USB ストレージが「準備完了」になると、USB インジケーターは青色で点灯します。バックアップを開始すると、状態が「作業中」となり、情報にはコピー中のファイル数が表示されます。

USB ストレージを初期化する時は「フォーマット」ボタンをクリックします。

注意:USB バックアップ・ボタンを有しているのは DS-1100 シリーズ、DS-4200 Pro(+)シリーズ、DS-16000-RM Pro+シリーズです。

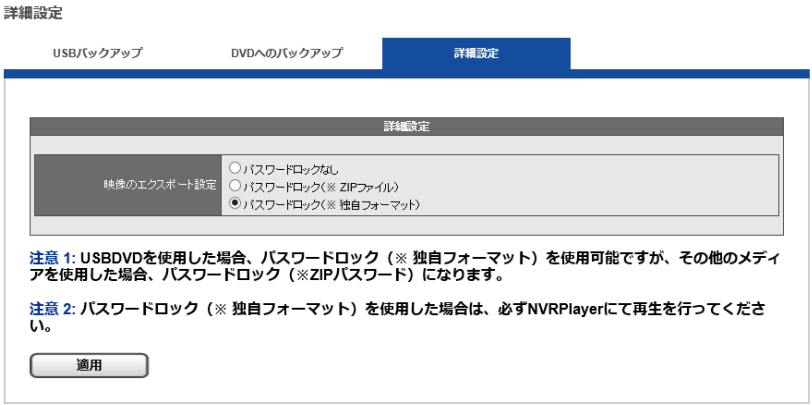
注意:録画ファイルとともに NVRPlayer と NVRCheck がダウンロードされます。

2.DVD へのバックアップ

USB 接続できる DVD ドライブを NVR に接続し、正常に認識されると、USB インジケーターは青色で点灯して「状態」が準備完了になります。

注意：DVD ドライブに対応しているのは DS-4200 Pro(+)シリーズ、DS-16000-RM Pro(+)シリーズのみです。
注意：DVD ドライブ内に DVD メディアが挿入されていない時は USB 機器として認識されません。
注意：DVD ドライブに対してバックアップが行われると、録画ファイルとともに NVRPlayer と NVRCheck が DVD にコピーされます。
注意：ロジテック INA ソリューションズ株式会社ポータブル DVD ドライブ「LDR-PMG8U2LBK」で動作確認を行っております。

3.詳細設定



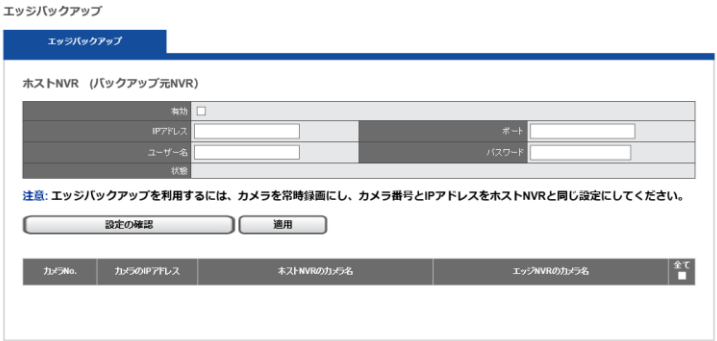
録画ファイルをエクスポートする際、パスワードによる保護を行えます。録画ファイルは設定に基づき、パスワードつき zip ファイルもしくは、独自ファイルにて圧縮されます。
※パスワード独自フォーマットを使用した場合は、NVRPlayer にて再生を行った際にパスワードの入力画面が表示されるので入力を行い、再生を行ってください。その際、他の汎用プレイヤーは使用できません。

注意：パスワードによる保護を行えるのはエクスポート時のみです。バックアップ・ボタンを用いた時はパスワードによる保護は行われません。

該当欄にチェックを入れた後、「適用」をクリックしてください。
※zip ファイルを解凍する時、バックアップ時に決めたパスワードを使用し解凍を行ってください。

5.4.3 エッジバックアップ

エッジバックアップ機能を使用することにより、1 台のカメラを 2 台のレコーダーで同時に録画を行いその補てんを行うことができます。



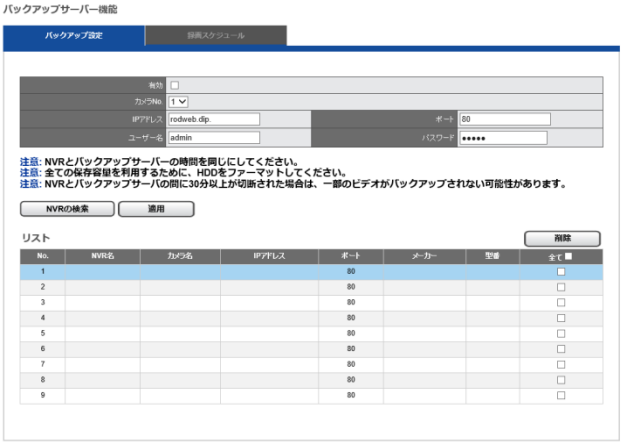
1. 2 台の NVR に同じカメラを登録します。
2. 上記メニューにて、それぞれ 2 台の NVR にエッジ先の NVR の IP アドレス、ユーザー名、パスワードを入力して登録を行ってください。

※エッジバックアップを使用するには、カメラを常時録画にし、カメラ番号と IP アドレスをホスト NVR と同じ設定にする必要があります。
※カメラはデュアルストリーム対応のものを使用してください。
※それぞれの NVR の時間を同じにしてください。

5.4.4　バックアップサーバー機能

この機能を使用することで、NVR が録画バックアップ用の装置となり NVR のバックアップを行います。また、バックアップされたデータはローカルディスプレイにて再生が可能です。

※バックアップできるカメラの台数は、バックアップサーバーに変更前の NVR のチャンネル数です。



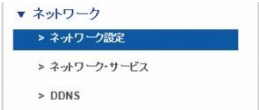
1. 有効にチェックを入れバックアップサーバーに変更後、バックアップを行いたい NVR の IP アドレス、ユーザー名、パスワードを入力して NVR を追加してください。
2. 録画スケジュールをクリックして、バックアップを行いたいカメラとその時間を入力すると自動的にバックアップを行います。

   ※NVR とバックアップサーバーの時計を同期してください。

   ※NVR とバックアップサーバーとの間が 30 分以上切断された場合は、一部のビデオがバックアップされない可能性があります。

5.5 ネットワーク設定

5.5.1 ネットワークのセットアップ



「ネットワーク」のメニューから「ネットワーク設定」を選択してください。

1.情報

コンピューター名、IP アドレス、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイ、プライマリ及びセカンダリ DNS 情報を表示します。

2.設定

DIGISTOR は 2 つの異なった IP アドレスを設定でき、お使いのネットワークに合わせ IP アドレスを使い分けることが可能です。

⚠ **注意：**デュアル IP アドレスに対応しているのは DS-4200 Pro(+)シリーズ、DS-16000-RM Pro+シリーズです。

共有 IP

コンピューター名の変更、DHCP または固定 IP の設定を行えます。

●**DHCP :** ネットワーク内の DHCP サーバーから自動的に IP アドレスが割り振られる設定です。

●**固定 IP :** DHCP サーバーが存在しない時、DIGISTOR の初期 IP アドレスは「192.168.1.245」になります。お使いになるネットワークの環境に合わせて IP アドレスを変更してください。同一ネットワーク内に複数の DIGISTOR が存在する時は、それぞれ異なる IP アドレスを持つように設定してください。

固有 IP

LAN1 と LAN2 で異なるネットワーク設定を用いる場合は「固有 IP」を選択してください。

3.ポート設定

初期設定は「80」です。DIGISTOR にアクセスする際に使用する HTTP ポートを設定してください。

5.5.2 ネットワーク・サービス

「ネットワーク」メニューから「ネットワーク・サービス」を選択してください。

1.禁止／許可リスト

禁止リストまたは許可リストを有効にします。いずれの場合も、本当に有効にするかどうかを確認するウィンドウが表示されます。その後、禁止または許可する IP アドレスを入力してください。
禁止リストを有効にした場合、登録された IP アドレスから本製品へのアクセスが禁止されます。
許可リストを有効にした場合、登録された IP アドレスからのみ本製品へのアクセスが許可されます。

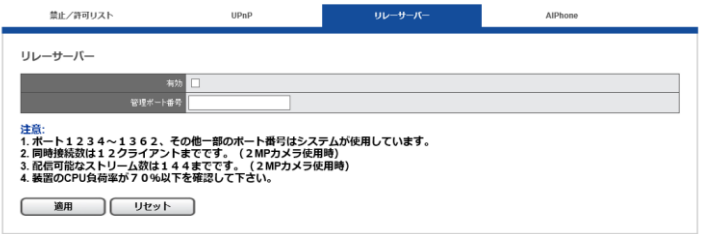
2.UPnP

UPnP の有効／無効を切り換えられます。また UPnP で使用するコンピューター名を変更できます（半角英数で最大 32 文字）。

3.リレーサーバー

リレーサーバー機能を使用することで、複数のクライアントを使用し、同時に 4 台以上の複数の端末で監視ができます。

※リレーサーバー機能を使用するには、リレーサーバー機能を有効にし、管理ポートを設定してください。



4.Aiphone（アイホン）

NVR はアイホン製のドアホン（IX シリーズ）に対応しており、ドアホンのコールボタンを押すことでアラーム録画もできます。

アイホン製のカメラに接続し登録するには、Aiphone SIF 機能を有効にし、アイホン側の管理ポートを入力してください。
※別途 Aiphone IX-DA 側にも設定が必要です。詳しくは販売店にお問い合わせください。

※カメラの登録には Onvif を使用し、ポート番号は 10080 を設定してください。

コールボタンによる録画を有効にする場合は、NVR メニューイベント＆アクションの設定にて設定を行ってください。
※コールボタンによるポップアップ機能には現在対応しておりません。

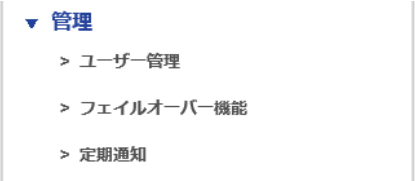
5.5.3 DDNS

DDNS（Dynamic Domain Name Service）とは、固定 IP を使ってインターネット経由で NVR にアクセスする代わりに、動的 IP とドメイン名とをリンクさせ、そのドメイン名を使ってアクセスするサービスです。
DIGISTOR が対応している DDNS は、①ipcam.jp、②nwcam.jp、③DynDNS、④No-IP です。
DDNS の設定を行う前に、必要な情報を DDNS プロバイダーから取得してください。

例： ipcam.jp のサービスを利用している場合、「サービス」の ipcam と「有効」にチェックを入れ、プロバイダーから与えられた情報（例：ユーザー名：001、パスワード：abcdefgh、Host Name：digiever）を入力してください。DIGISTOR は ipcam.jp の DDNS サーバーに動的 IP アドレスの情報を送り、「digiever.ipcam.jp」のドメイン名とリンクさせます。ユーザーは IP アドレスに関係なく、「digiever.ipcam.jp」で NVR にアクセス可能になります。

5.6 管理

「管理」設定ページでは、ユーザーの追加や権限の編集、NVR に保存されているログの確認、バックアップや接続している外部機器の管理設定を行います。



5.6.1 ユーザー管理

「管理」メニューから「ユーザー管理」を選択してください。DIGISTOR には複数のユーザーが同時にアクセスできます。工場出荷時は管理者である「admin」のみユーザーとして登録されています。管理者はユーザーを新規作成できます。ユーザーには「Power User」と「User」の 2 グルー

プがあり、「Power User」は一部の設定変更が可能です。「User」も設定ページへ移動できますが自分のパスワードしか変更できません。

1.ユーザーの作成

●Power User

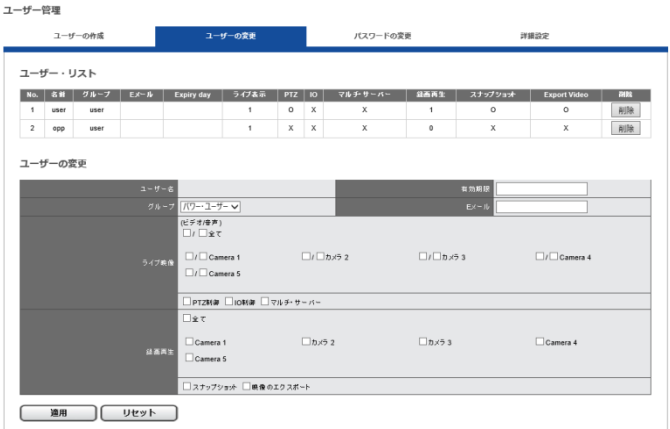
ユーザー名（半角英数字 15 文字以内）とパスワード（同）を入力し、「グループ」メニューから「Power User」を選択してください。ライブ映像と録画再生に関する権限は、自動的に全てのカメラに対して適用されます。

「適用」をクリックしたらユーザーが作成され、「リスト」に表示されます。

●User

ユーザー名（半角英数字 15 文字以内）とパスワード（同）を入力し、「グループ」メニューから「User」を選択してください。ライブ画像と録画再生に関する権限を設定します。チェックの入ったカメラのみ、ライブ映像及び録画再生が可能になります。

「適用」をクリックしたらユーザーが作成され、「リスト」に表示されます。



2.ユーザーの変更

「ユーザーの変更」タブをクリックしてください。

User の権限変更を行う時は適宜変更して「適用」をクリックします。

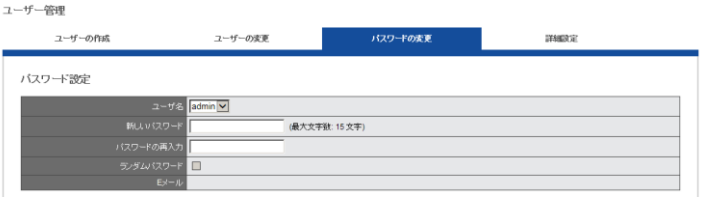
登録しているユーザーを削除する時はリストで選択し、「削除」をクリックします。

No.	名前	グループ	Eメール	Expiry day	ライブ表示	PTZ	IO	マルチサーバー	録画再生	スナップショット	映像のエクスポート
1	user	user			1	O	X	X	1	O	O
2	opp	user			1	X	X	X	0	X	X
3	testpower	power user			1,2,3,4,5	O	O	O	1,2,3,4,5	O	O

3.パスワードの変更

「パスワードの変更」タブをクリックしてください。

「ユーザー名」で変更したいユーザー名を選択し、新しいパスワードを入力します。



※admin（管理者）ユーザーの作成は行えません。

5.6.2 フェイルオーバー

フェイルオーバーとは、稼働中の NVR に障害が発生した際、その機能を自動的に引き継ぎ、処理を実行する機能です。例えば、1 台の NVR に対し 1 台のフェイルオーバーサーバーを導入することで、万が一のレコーダー障害等に対しての大きな録画欠損を避けることができます。

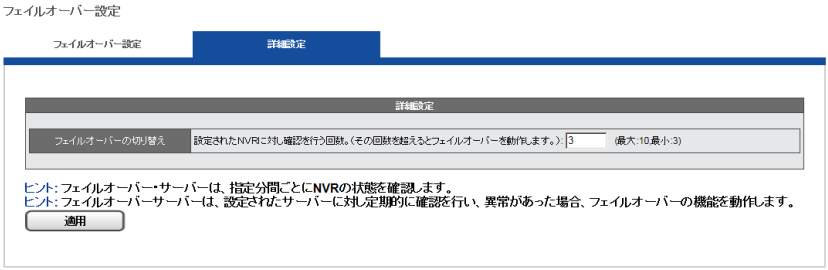
※最大 4 台までの NVR を管理、監視します。

※カメラ台数の上限は、登録チャンネル数までとなります。64CH であれば 64 台のカメラとなります。

●フェイルオーバー設定

●詳細設定

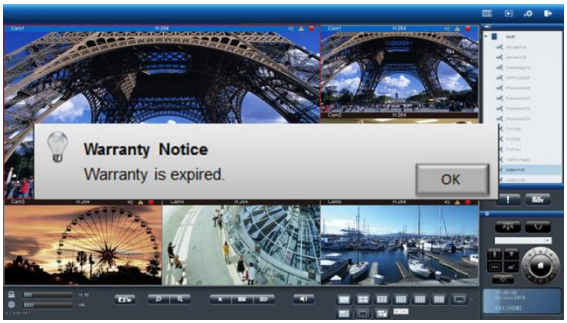
フェイルオーバーの切り替えタイミングの設定を行えます。



5.6.3 定期通知機能

ライブ映像にて定期通知を行いたい場合に設定する機能です。

上記の設定を入力し、登録することで、ライブ画面上で定期的にメッセージの通知ができます。



開始時間と間隔、メッセージ内容を入力して適用ボタンを押してください。

5. 7 External Device

5.7.1 PoE 制御

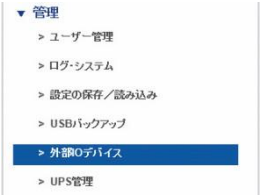
（※専用の PoE 使用時の機能の為、使用しません）

5.7.2 Modbus IO Device

（※専用の端末との連動機能の為、使用しません）

5.7.3 AXIS IO デバイス

AXIS 製 P8221 を NVR に登録して、その外部入出力を利用することができます。
「管理」メニューから「外部 IO デバイス」を選択してください。



機器名称、IP アドレス、ユーザー名、パスワードを入力して「検出」をクリックしてください。ネットワーク上に設定した機器があれば登録されます。「メーカー」と「型番」は自動で表示されます。「適用」をクリックして保存します。

リストには登録された機器の名称、IP アドレス、ポート番号、メーカー名、型番が表示されます。
登録された機器に応じて、「イベント」タブ内にイベント・リストが表示されます。

5.7.4 Access Control

（※専用の端末との連動機能の為、使用しません）

5.7.5 SNMP

●SNMP 設定

（※開発中の機能の為使用しません）

5.7.6 UPS 管理

UPS を用いて NVR の電源を管理できます。「管理」メニューから「UPS 管理」を選択してください。

⚠ **注意：**DIGISTOR シリーズが対応している UPS はユタカ電機製作所の常時インバーター・モデル「UPS510SS-R」と「UPS1010SS-R」です。

●UPS 機器情報

メーカー名、型番、AC 電源の状態、バッテリーの容量、予想保護時間が表示されます。予想保護時間はモニタリングのみ行っている状態が基準です。

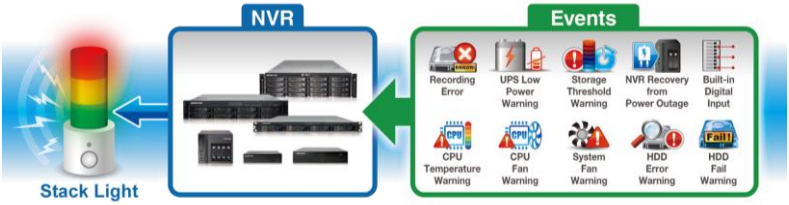
●UPS 管理設定：スマート・シャットダウンと復旧

UPS のバッテリー残容量により NVR がスマート・シャットダウンを行うのかを設定します。この機能を用いると、停電になり、UPS のバッテリーが指定の容量に達しても停電が復旧しないと、NVR はスリープ・モードでシャットダウンします。UPS のバッテリー容量が指定値を上回ると（＝停電から復旧すると）NVR は自動的に起動します。

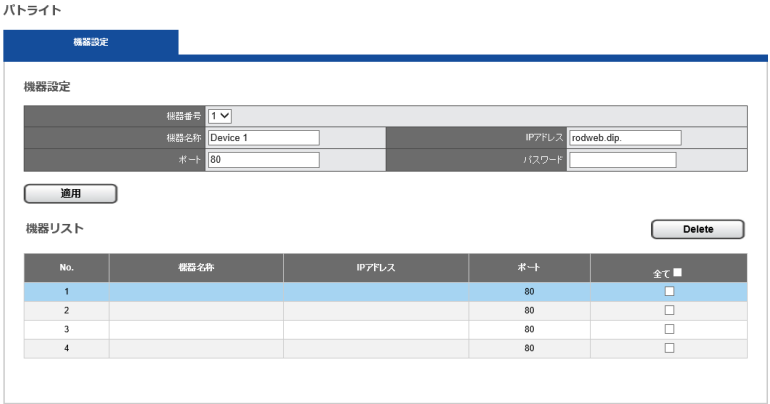
5.7.7 パトライト

パトライト製ネットワークパトライトを使用することで、HDD エラーなどのイベントが発生した際に、いち早く状況を知ることができます。

参考図：



サポート機種：NHx-3FB1-RYG
接続パトライト数：4 台まで
※パトライト点灯時のイベントの解除は、手動で行ってください。

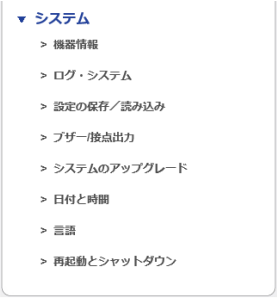


デバイス名、IP アドレス等の情報を入力し適用を押すことで登録ができます。動作に関しては、イベント＆アクションの設定にて動作設定を行ってください。

5.7.8 IP Controller

（※専用の端末との連動機能の為、使用しません）

5.8 システム



5.8.1 機器情報

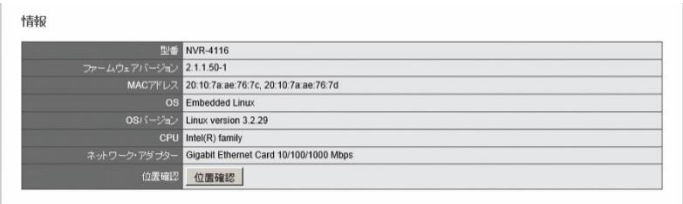
「システム」メニューから「機器情報」を選択します。

●システム情報：

オペレーティング・システム、OS バージョン、NVR バージョン、CPU、ネットワーク・アダプター、MAC アドレス、ネットワーク・フロー情報を表示します。

●位置確認：

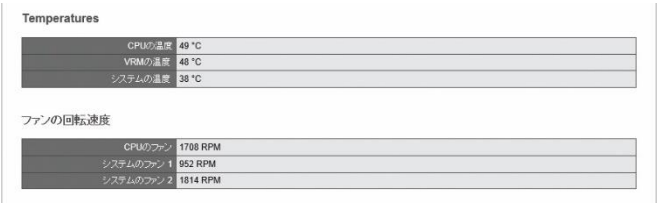
ボタンをクリックすると 3 秒間、NVR 本体からブザーが鳴ります。複数の DIGISTOR を運用している時など、位置を特定するのに便利です。



●エンクロージャー情報：

CPU の温度、ファンの状態などが表示されます。

注意：NVR の動作環境は 0～40 度です。



5.8.2 ログ・システム

「管理」メニューから「ログ・システム」を選択してください。必ずディスク・ボリュームを作成してから本機能をお使いください。
DIGISTOR が保存するログには次の 6 種類があります：
ハードウェア・ログ、NVR ログ、イベント・ログ、現在のユーザー、ユーザー履歴、アクセス履歴

●ハードウェア・ログ

RAID の作成、RAID の削除、RAID の修正、CPU、ブザー、ファン、システム、センサー、USB に関する情報が記録されます。

●NVR ログ

タイム・ゾーン、夏時間、システム、ファームウェアのアップグレード、IP 設定、録画ファイルのエクスポート、ストレージに関する情報が記録されます。

●イベント・ログ

カメラの接続、カメラの接続不良、デジタル入力、モーション検知、ストレージ使用制限超過などの情報が記録されます。

●現在のユーザー

現在、NVR にログインしているユーザーの情報を表示します。

●**ユーザー履歴**

NVR にログインしたユーザー情報が記録されます。

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	メッセージ
2014/03/25 12:51:40	info	admin	192.168.0.51	HTTP	[USER] Login
2014/03/25 12:51:39	info	admin	192.168.0.51	HTTP	[USER] Login
2014/03/25 11:59:32	info	admin	192.168.0.51	HTTP	[USER] Login

●**アクセス履歴**

SAMBA や FTP を使って NVR にアクセスした情報が記録されます。

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	メッセージ	状態
2014/03/24 18:35:02	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 18:05:07	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 17:55:40	info	admin	192.168.0.51	FTP	[SYSCON] Login	Pass

ログ・ファイルのエクスポート

ログ・ファイルをエクスポートして保存することができます。ログごとにファイルが作成されます。html または txt 形式でエクスポートできます。

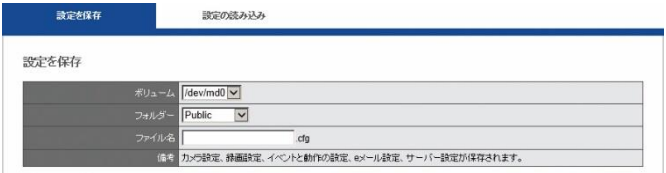
日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	メッセージ	状態
2014/03/24 18:35:02	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 18:05:07	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 17:55:40	info	admin	192.168.0.51	FTP	[SYSCON] Login	Pass

5.8.3 設定の保存と読み込み

「管理」メニューから「設定の保存／読み込み」を選択してください。

●設定の保存

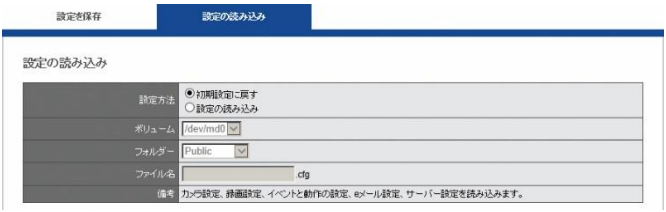
ボリュームとフォルダーをメニューから選んで保存先を決めます。またファイル名（拡張子は cfg）を決めてください。



注意：設定ファイルにはカメラ設定、録画設定、イベントと動作設定、E メール設定、サーバー設定が含まれます。設定ファイルは NVR 内の共有フォルダーに保存されます。Windows ネットワークまたは FTP サービスを使い、PC から設定ファイルにアクセスできます。

●設定の読み込み

設定ファイルを読み込むことで、別の NVR の設定をコピーすることができます。

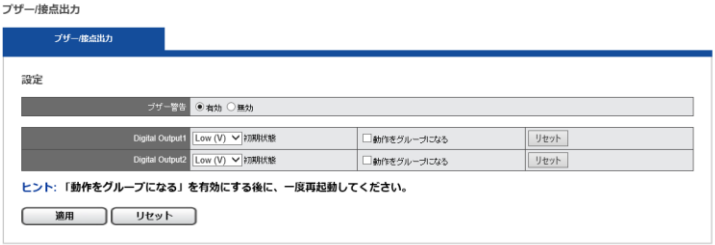


「初期設定に戻す」を選択すると、カメラ設定、録画設定、イベントと動作、E メール設定、サーバー設定が初期値に戻ります。
「設定の読み込み」を選択し、cfg ファイルを選択して「適用」をクリックすると、設定が書き換えられます。

5.8.4 ブザー/接点出力

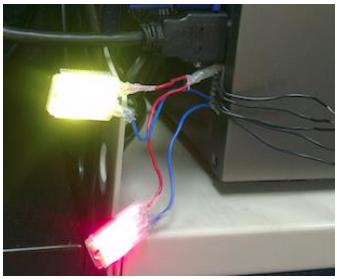
「システム」のメニューから「ブザー/接点出力」を選択してください。

警告時に使用するブザーのオン／オフを選択できます。オフにすると、デジタル出力時の動作である「ブザー」が実行されなくなります。
注意：「USB バックアップ」ボタンの長押しでブザーを停止することができます。

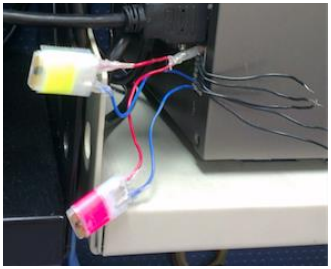


外部デバイスとの接続用に、接点出力の初期状態（※電源起動中）の設定ができます。
※電源が入っていない場合は Low voltage になります（※対応機種のみの機能となります）。

High voltage 時



Low voltage 時



5.8.5 システムのアップグレード

ブラウザを用いて、またはローカル・ディスプレイを操作して、NVR のファームウェアをバージョン・アップできます。

注意：お使いの NVR のシリーズに応じたファームウェア・ファイルをご用意ください。

注意：バージョン・アップは必ず順番に行ってください。バージョンを飛ばしてアップデートするとカーネル情報が更新できず、システムが正常に起動しないことがあります。また 40 台のバージョンから 50 台にアップデートする時は、ディスク・ボリュームを一度削除して再作成する必要があります。

1.ブラウザを用いたアップグレード

（1）新しいバージョンのファームウェアを弊社 HP または、販売店より取得し、PC に保存してください。

（2）ダウンロードしたファイルを解凍します。

（3）「設定」ページへ移動し、「システム」メニューから「システムのアップグレード」を選択します。

（4）「参照」をクリックして保存したファームウェア・ファイルを指定します。

(5)「アップグレード」をクリックしてファームウェアの更新を行います。
システムのアップグレードが完了したら NVR は自動的に再起動します。「機器情報」メニューの「システム」から、NVR のファームウェア・バージョンを確認することができます。
（※念のためアップグレード前に録画装置の再起動をお願いします）

2.ローカル・ディスプレイを操作してのアップグレード

注意：ローカル・ディスプレイでのアップグレードは DS-8200-RM Pro(+) シリーズ、 DS-4200-RM Pro(+)シリーズ、DS-4200 Pro(+)シリーズ、DS-2100 Pro(+)シリーズ、DS-1100 Pro(+)シリーズでの対応となります。

（1）新しいバージョンのファームウェアを弊社 HP または、販売店より取得し、PC に保存してください。

（2）ダウンロードしたファイルを解凍して、USB ストレージに保存します。

注意：USB ストレージは FAT32 ファイル形式でフォーマットしてください。また作業を円滑にするため、「update.bin」ファイルのみ保存した状態にしてください。

FAT32 ファイル形式のフォーマット方法：

I. 「マイコンピューター」を開きます。
II. USB ストレージ（フラッシュ・メモリー）を選択、右クリックして「フォーマット」を選択します。
III. 「ファイル・システム」の「FAT32」を選択します。
IV. 「開始」ボタンをクリックしてフォーマットを実行します。

（3）NVR にローカル･ディスプレイと USB ストレージを接続します。

（4）NVR とローカル・ディスプレイに電源を入れて NVR にログインします。

（5）「設定」ページへ移動し、「システムのアップグレード」を選択します。接続した USB ストレージの「状態」が「準備完了」の表示ならアップグレードを実行できます。

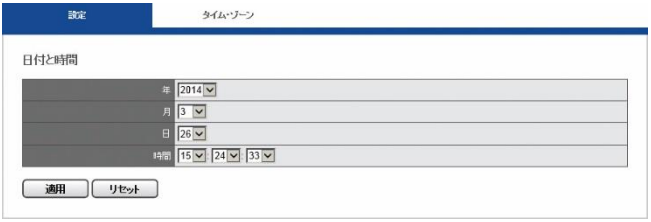
(6) システムのアップグレードが完了したら NVR は自動的に再起動します。「機器情報」メニューの「システム」から、NVR のファームウェア・バージョンを確認することができます。

5.8.6 日付と時間

「システム」のメニューから「日付と時間」を選択してください。

●セットアップ

手動で設定する時は年月日と時刻を選択して「適用」をクリックしてください。



●タイム・ゾーン

使用している地域のタイム・ゾーンを選択します。また夏時間（サマータイム）が導入されている時は、同オプションを有効にします。
NTP サーバーと同期を取る場合は NTP サーバーの IP アドレスを設定します。

NVR にビルトインされた NTP サーバー：

NVR を NTP サーバーとして利用することができます。システム内の全ての機器で時刻同期を行う場合に役立ちます。

同メニューに表示された IP アドレスを NTP サーバーのアドレスとして、同期させたい機器を設定してください。

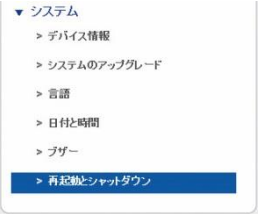
5.8.7 言語

「システム」のメニューから「言語」を選択します。UI で表示する言語を選択して「適用」をクリックしてください。「AUTO」を選択すると、アクセスしている PC の情報に基づいて表示言語を自動選択します。

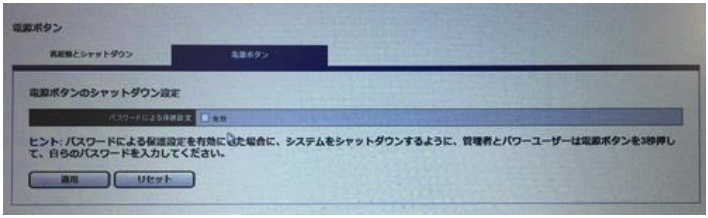
5.8.8 再起動とシャットダウン

「システム」のメニューから「再起動とシャットダウン」を選択してください。

「再起動」を選んで「適用」をクリックすると本体が再起動します。
「シャットダウン」を選んで「適用」をクリックするとシャットダウンします。



※電源を落とす場合は、必ず「シャットダウン」を選択するか、もしくは前面ボタンを長押し（1.5 秒程度押すと 1 度ビープ音が鳴ります。ビープ音が鳴った後、電源ボタンから指を離してください）し、電源を切ってください。



また、パスワードによる保護設定を行うと、電源ボタンを押した後、パスワードの入力を行いシャットダウンが行えます。